

DARUMA PATTERN BOOK

8



COLLECTION

さあ、編み物の季節がやって来ました。

今着たいニットはどんなカタチ？どんな色？

ほんのり甘いニュアンスが加わるセーラーカラーや

彫刻みたいな透かし模様のプルオーバー、

メッシュの透け感も取り入れたい。

ウエアは上からざっくり羽織れるようなシルエットに。

モノトーンで揃えれば、着回しも抜群です。

ミトンやソックスはカラフルな差し色としてコーディネートアクセントに。

長い時間をかけて編んだニット、

沢山着回しして冬のおしゃれを楽しみましょう。

1. セーラーカラープルオーバー
2. ブリオッシュステッチソックス
3. オープンワークプルオーバー
4. WRAP UP WARM! ミトン
5. ケーブルショルダーウォーマー
6. クロッシェメッシュカーディガン
7. フードスカーフ
8. ジグザグヨーク模様のプルオーバー







1. セーラーカラープルオーバー

〔DESIGN〕 岡 まり子

たっぷりとしたシルエットのセーラーカラープルオーバーです。ポイントはなんと言ってもセーラー部分。前身頃から続けて衿開きまで編み、そこから左右に分けて編み進め、後ろに広がる衿は左右の両端の編地をくると返して繋げるスペクタクルな構造です。ねじりゴム編みで形もしっかりと、程よい厚みで収まりも良い編地です。身頃や袖はメリヤスで軽やかに、インナーに重ね着もしやすい身幅や袖幅の広いシルエット。少し肌寒い季節のアウターとしてもおすすめです。ボーイッシュにもガーリーにも合わせるアイテムでコーディネートを楽しんでいただけます。

YARN シェットランドウール

PATTERN P.36







2. ブリオッシュステッチソックス

〔DESIGN〕 那須 早苗

奥行きのあるブリオッシュステッチの配色が楽しいソックスです。編み始めはかかとの上から、別鎖の作り目でスタートし、足先にかけてメリヤス編みで編みます。かかと上から足首、はき口にかけてはお楽しみのブリティッシュステッチで。反対色のカラーをセレクトすると、ストライプの模様がよりはっきりと浮き上がります。足元のおしゃれが楽しくなるソックスです。

YARN スーパーウォッシュスバニッシュメリノ

PATTERN P.48







3. オープンワークプルオーバー

〔DESIGN〕 野口 智子

色々な種類の透かし模様を組み合わせた見た目もはなやかなオープンワークのプルオーバー。ふっくらスポンディッシュで彫刻のような立体感の出るスパニッシュメリノで編んでいます。ぽてっと幅広い身幅に裾の長めのスリットが効いていて、パンツやスカート、ワンピースにも合わせられるシルエットと丈感です。徐々に変わる模様が楽しくて、気が付けば出来上がっていた！そんな編むのも着るのも楽しいセーターです。

YARN スパニッシュメリノ

PATTERN p.52







14





4. WRAP UP WARM! ミトン

[DESIGN] YOKOTA

“WRAP UP WARM”は“あっためてね”という意味。楽しいメッセージを込めた編み込み柄のミトンです。親指が開いているのでミトンをはめたまま、スマートフォンを操作するのにも便利です。カラーによって印象が変わるので好みの色の組み合わせで編んでみてください。

YARN ランブイエメリノウール

PATTERN P.56





5. ケーブルショルダーウォーマー

[DESIGN] YOKOTA

首元から胸元にかけてあたたかいショルダーウォーマー。前後を分けて編み、肩の部分からは繋げて輪で編みます。ネックの終わりは内側に折り返して始末することで、ネック部分までケーブルが入ったデザインに仕立てています。ノーカラーのコートやジャケットに合わせたり、シャツやワンピースに合わせてつけ衿感覚でコーディネートしてみてください。

YARN フォークランドウール PATTERN P.58









6. クロッシェメッシュカーディガン

〔DESIGN〕 今井 昌子

大ぶりの透かし模様が全体に入ったメッシュカーディガン。かぎ針で編むクロッシェ模様の奥行きのある編地は繊細さに加え、カジュアルな親しみやすさもあります。まずはかぎ針で身頃と袖を編み、裾と袖口、前立てと衿を棒針で拾ってリブを編み付けて仕立てます。さっぱりとした手ざわりのランブイエメリノウールを使用しているので、少し肌寒い秋口から春の終わりまで、長い季節楽しめるウエアです。

YARN ランブイエメリノウール

PATTERN P.62





7. フードスカーフ

〔DESIGN〕 くげなつみ

肩に羽織ってパーカーのフード部分のようにしたり、寒い日には頭巾のようにかぶることができるスカーフです。広げるとなんと不思議なカタチ、肩に羽織ることで立体的なシルエットに収まります。幅広いひも部分は結んだりたらしたり、アクセサリ感覚で巻き方を試してみてください。メリヤス編みタイプと、粒々と小さな透かし模様タイプの2種があるので好みの編地や色で編んでみてください。

YARN 空気をまぜて糸にしたウールアルパカ

PATTERN P.68







8. ジグザグヨーク模様のプルオーバー

〔DESIGN〕 岡 まり子

身頃の半分以上を占める深いヨークが印象的なプルオーバー。インパクトのあるジグザグ模様は伝統的な衣装のような佇まいです。編み始めはヨークの下部分から別鎖で作り目を作り、首元にかけて模様を編み込みます。首元は一旦伏せ目にしてから目を拾ってリブを付けることで伸びるのを防ぎます（伏せ目は頭が通るゆるさで）。別鎖から身頃と袖をそれぞれ裾、袖口に向かって編みます。ざっくりと太いローピングの糸で編む編み込み模様は、1枚で寒い冬を乗り越えられるあたたかさです。

YARN ウールローピング

PATTERN P.72



PATTERN
Page



セーラーカラーブルオーバー >>> P.36



ブリオッシュステッチソックス >>> P.48



オープンワークブルオーバー >>> P.52



WRAP UP WARM! ミトン >>> P.56



ケーブルショルダーウオーマー >>> P.58



クロッシェメッシュカーディガン >>> P.62



フードスカーフ >>> P.68



ジグザグヨーク模様のブルオーバー >>> P.72

Knit Designer

今井 昌子

ディスプレイの仕事を経て編物学校で編物を学び、卒業後は編物講師として勤める。その後はニットデザイナーとして糸メーカーやアパレル会社のデザイン提案や制作を行う。現在はニットデザインの仕事をしつつ、ニットサークルを主宰しワークショップで編物の楽しさを伝えている。編物初級者から上級者が楽しめるような編みやすくて心地よく着られるデザインが多数ある。
☎ @atelier_masako75

岡 まり子

大学卒業後、アパレル会社勤務を経て、ヴォーグ編物指導者養成校で編物を学ぶ。同校を卒業し、糸商勤務の後フリーのニットデザイナーに。現在は書籍や雑誌、糸メーカーのためのデザイン提案と製作を行う。レース小物のアクセサリーから、ベビー・キッズ向け、上級者向けのウェアまで、幅広い層に向けたデザインを展開。主な著書に『かぎ針あみのモチーフつなぎとエジング』（日本ヴォーグ社刊）がある。

くげ なつみ

ウォームワーククリエイターとして、手仕事、主に編物を中心に活動中。アパレルブランドの製品も、デザインから制作までを手がけている。自由な発想から生まれるかわいい編物を書籍や手芸誌、イベントなどで展開。糸を編む、結ぶといった技法でできる、シンプルでかわいい作品が作れるワークショップも行う。主な著書に『あみものススメ』（主婦と生活社刊）、『わたしのえりまき』（日東書院本社刊）がある。
☎ @cuge_natsumi

那須 早苗

ヴォーグ編物指導者養成校を卒業後、糸メーカー勤務を経て作家活動を始める。現在は書籍の作品製作の他、糸メーカーのためのデザイン提案と製作、ヴォーグ学園東京校にて講座「日々のあみもの」を担当している。シンプルかつ詩的で美しい柄や色合わせのデザインが多数。主な著書に『あみものクローゼット』、『糸とあみもの』、『日々のあみもの』（文化出版局刊）がある。
<https://www.nasusanae.com/> ☎ @ns_knittingworks

野口 智子

エッコミン
(eccomin)

ニットデザイナー、バイヤーを経て2006年にハンドニットブランド「eccomin」をスタートし、コレクションの発表や編み物本へのデザイン提供と製作をして活躍。アーティスティックかつミニマルな色や形で、身に付けて楽しくなるデザインが多数。2015年、渋谷に手芸と作家もののお店chocoshoeを構える。主な著書に『わたしのセーター』（文化出版局刊）、『色づかいの編み小物』、『シンプルベビーニット』（グラフィック社刊）がある。
<https://chocoshoe.net/> ☎ @eccomin

この本で使用している糸



32

巻末に糸のサンプルが付いています

※印刷のため色が多少異なります。

A シェットランドウール

シェットランド諸島に生息しているシェットランドシープ 100%の毛糸。
厳しい寒さの中で育つ毛質は弾力性、耐久性に優れ英国羊毛の中でも
柔らかく光沢感があるのが特徴です。

☐ウール(シェットランドウール)100% ☐50g(約136m)

☐  5～7号 ☐  6/0～7/0号

B スーパーウォッシュ
 スパニッシュメリノ

コシが強く弾力性があるスペインメリノを使用したソックヤーン。
ナチュラルな光沢感と膨らみがある毛糸です。

ナイロンが 20% 混紡されているので摩擦に強くお手軽に扱っていただけます。

☐ウール(スパニッシュメリノウール・防縮加工)80%・ナイロン 20% ☐50g(約212m)

☐〈ソックス〉  0～1号 〈標準〉  1～3号 ☐〈標準〉  3/0号

C スパニッシュメリノ

スペイン西部、ポルトガルと国境を接するエストレマドゥーラ州で育てられた羊の毛は、
繊細で柔らかいにもかかわらず、コシが強く弾力性があるのが特徴です。

なめらかな肌触りで、模様編みがきれいに編めることに加え、とても軽く編み上がる毛糸です。

☐ウール(スパニッシュメリノウール)100% ☐50g(約71m)

☐  11～13号 ☐  9/0～10/0号

D ランブイエメリノウール

弾力性がありながらも均一できめ細やかな質感の毛糸。
通常よりも強く撚りをかけて紡績することで、
細かな模様編みがはっきりと浮かび上がります。

☐ウール(ランブイエメリノウール)100% ☐50g(約145m)

☐  4～6号 ☐  5/0～7/0号

E フォークランドウール

フォークランド諸島で育った羊の毛は一般的な羊毛よりも白度がとても高く、
柔らかさの中にもハリやコシがあるのが特徴です。ベビーアルパカを混ぜ
ることで、染めていない自然そのままの色目や質感を表現しています。

☐ウール(フォークランドウール)80%・アルパカ(ベビーアルパカ)20%

☐50g(約85m) ☐  11～13号 ☐  9/0～10/0号

F 空気をまぜて糸にした
 ウールアルパカ

糸の表面が空気を含んだバイル状になっているため、とても軽い毛糸です。
年間産出量の約 1% しか取れない、ペルー産のロイヤルベビーアルパカと
メリノウールを合わせて毛糸にしました。

☐ウール(メリノ)80%・アルパカ(ロイヤルベビーアルパカ)20%

☐30g(約100m) ☐  5～7号 ☐  6/0～7/0号

G ウールローピング

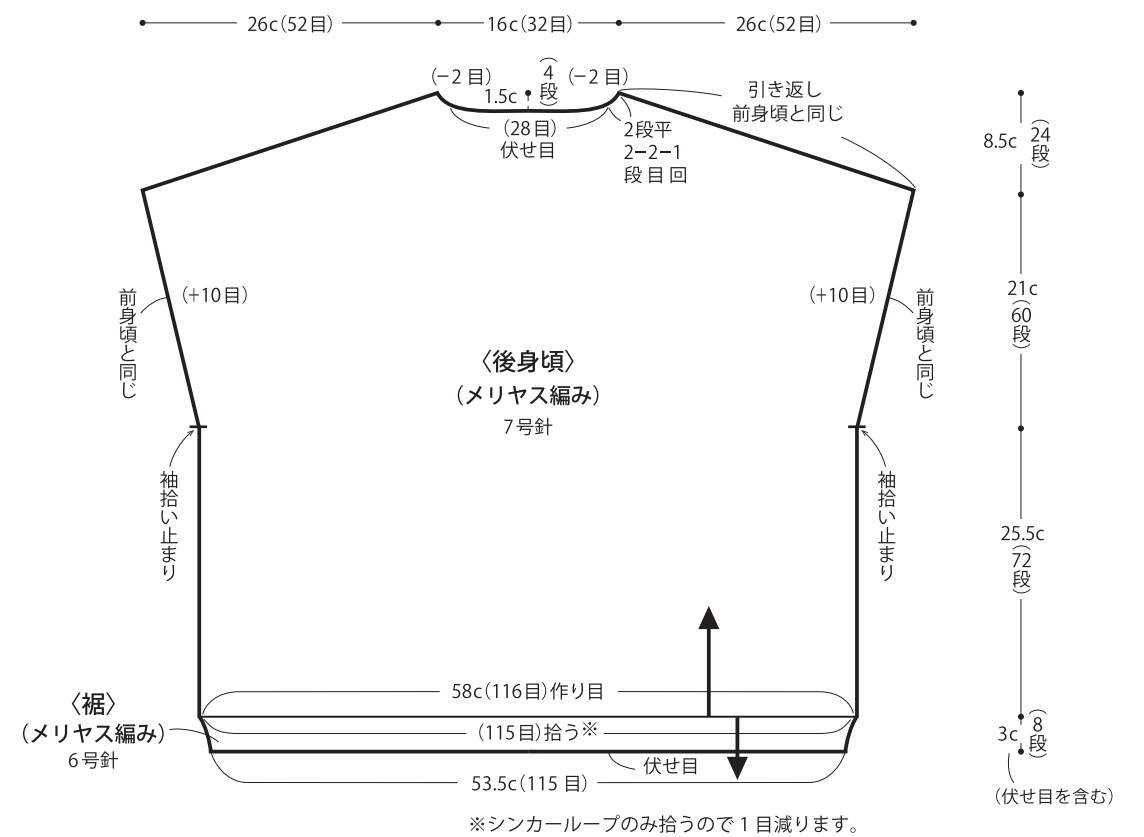
コシのある英国羊毛をベースにした弾力があり膨らみのある糸。
篠(しの)と呼ばれる糸になる前の繊維の束を 3 本合わせ、少しだけ撚りがかけられています。
ざくざくと編み進められ、ボリューム感のある編み地に編み上がります。

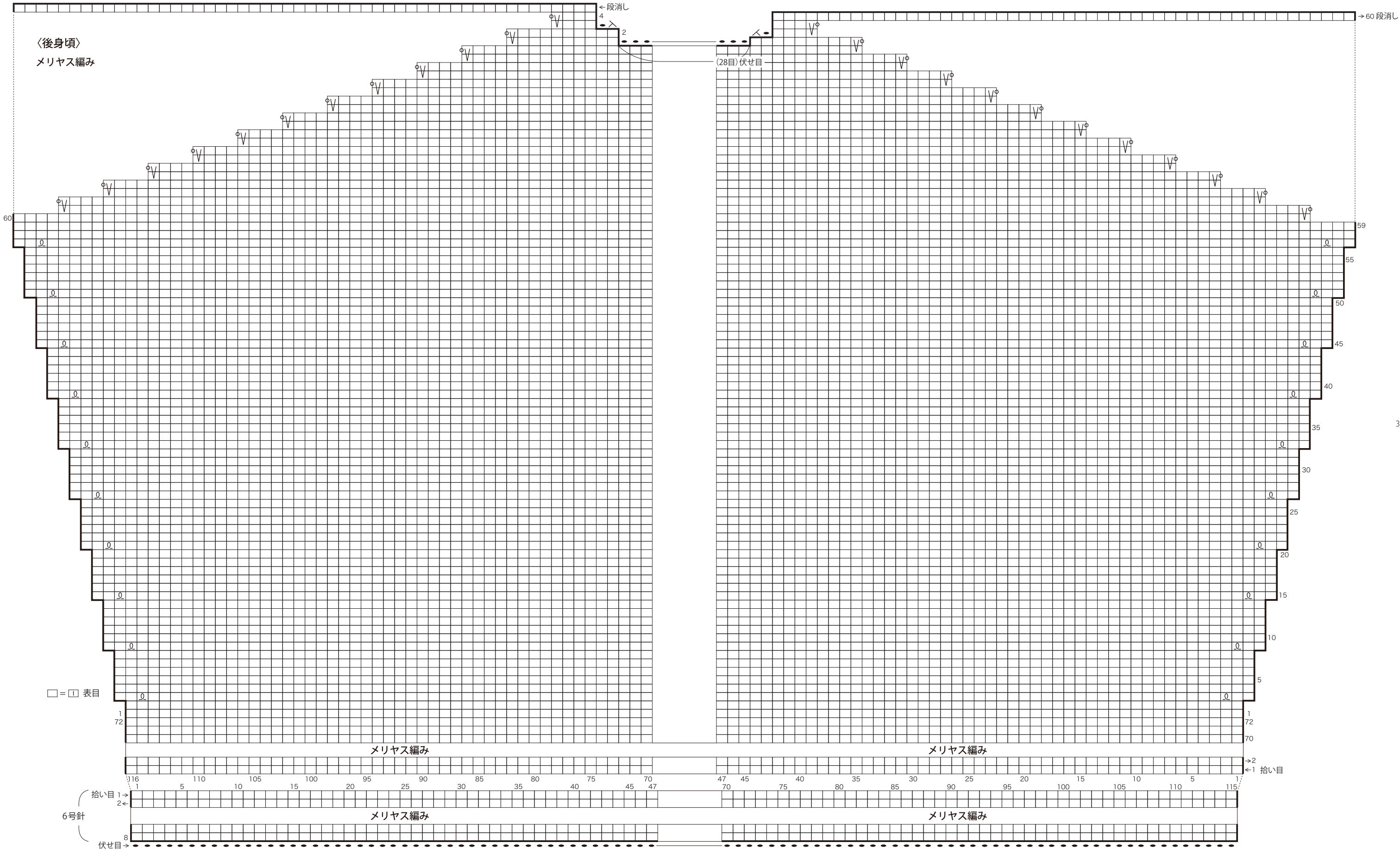
☐ウール 100% ☐50g(約75m)

☐  12～13号 ☐  10/0号～7mm

〔 使用糸 〕	シェットランドウール グレー(8)…400g(8玉)
〔 使用針 〕	6号玉付き2本棒針、7号玉付き2本棒針、3/0号かぎ針(衿の引き抜き)
〔 ゲージ 〕	メリヤス編み 10cm角 20目×28.5段(7号針)、21.5目×28.5段(6号針)、ねじり1目ゴム編み 10cm角 27目×27.5段
〔 できあがり寸法 〕	胸囲 116cm、丈 58cm、袖丈 39.5cm

- 1** 後身頃は別鎖の作り目をして7号針でメリヤス編みをします。袖ぐりは端から2目内側でねじり増し目をして肩は引き返し編みで編みます。裾は作り目をほだいて針に取り、6号針でメリヤス編みで編み、編み終わりは伏せ目にします。
- 2** 前身頃は後身頃と同じように編み始め、衿はねじり1目ゴム編みを入れて左右に分けて編みます。左後ろ衿4段めで糸を切り、休み目にします。ここからは左右続けて後ろ衿をねじり1目ゴム編みで編みます。編み終わりはねじり目は表、裏目は裏に波打たないように少しきつめに伏せ目をします。衿の巻き増し目には、ねじり目側から3/0号針で引き抜き編みで伸び止めをします。裾も後身頃と同じように編みます。
- 3** 肩はかぶせはぎにします。
- 4** 後ろ衿の巻き増し目部分と後衿ぐりを割り糸を使い、半返し縫いで縫います。(身頃の表側にとじ代が出るように)
- 5** 袖は身頃から目を拾いメリヤス編みで編みます。袖口は針を替えて編み、編み終わりは伏せ目にします。
- 6** 脇と袖下をすくいとじします。





〈右前身頃〉

〈右前衿〉ねじり1目ゴム編み

〈左前衿〉ねじり1目ゴム編み

〈左前身頃〉

40
ここから左右に
分けて編む

41

〈前身頃〉メリヤス編み

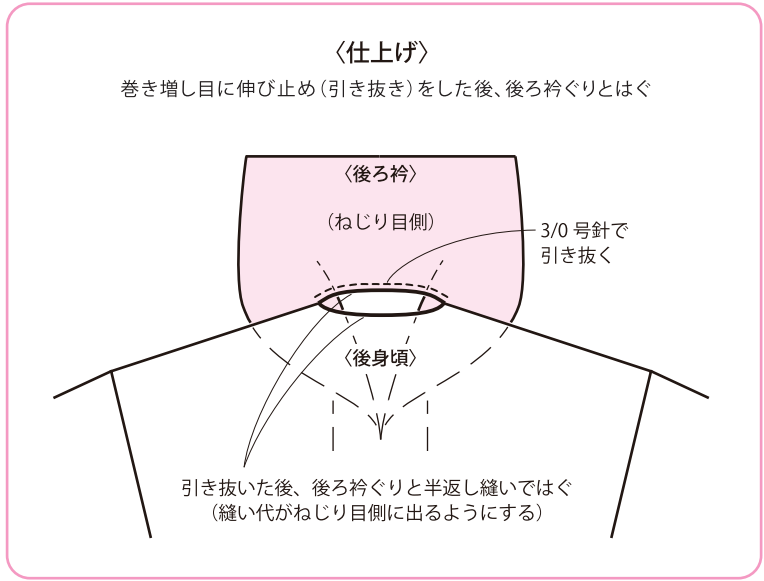
→2
←1 拾い目

6号針

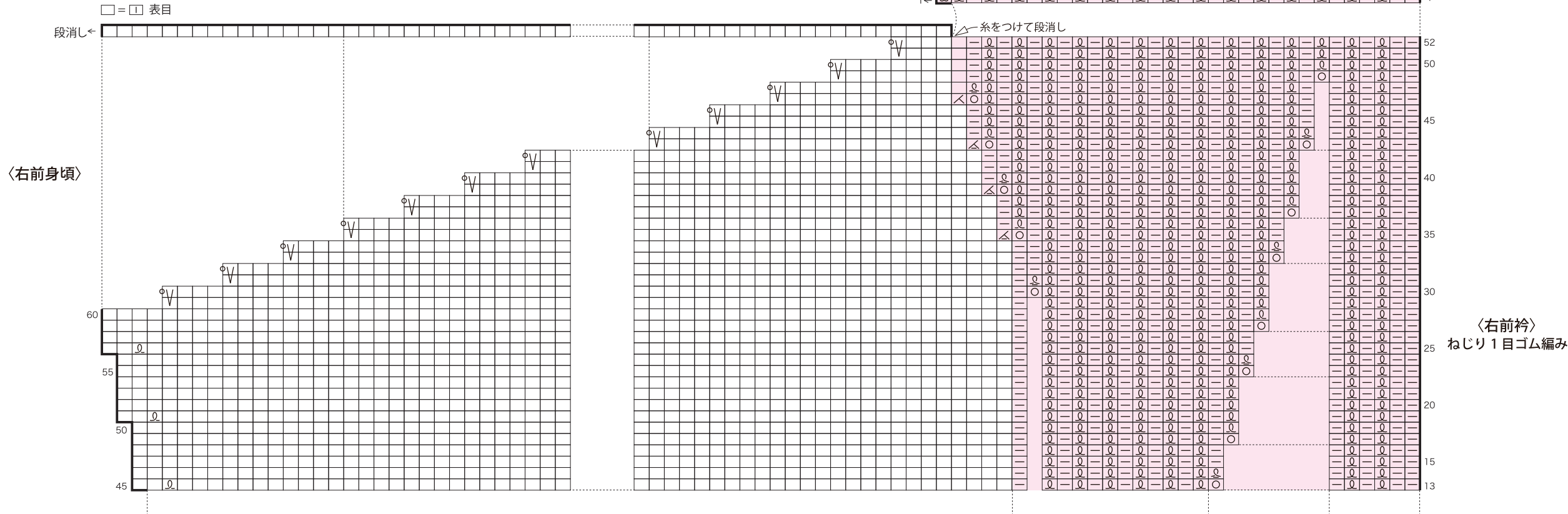
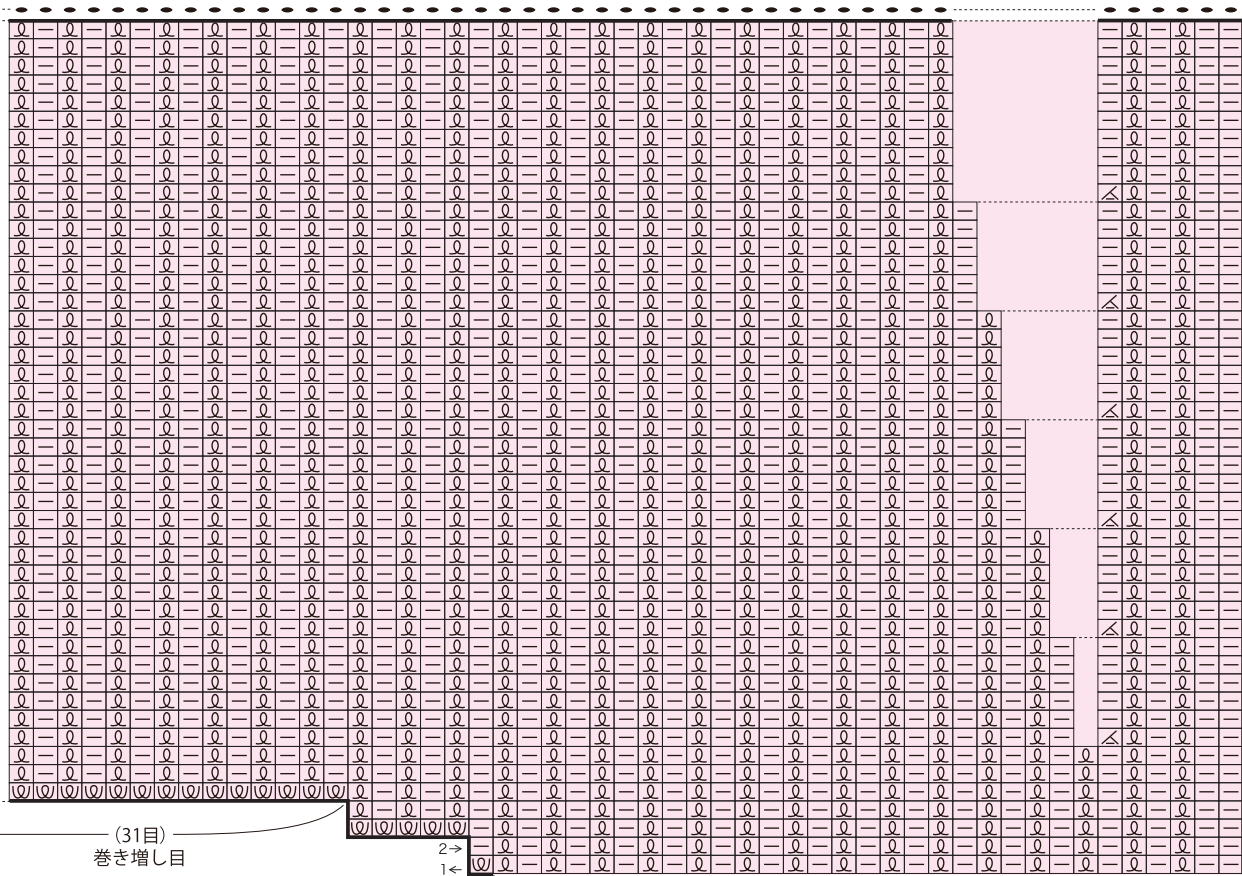
伏せ目 → 

40

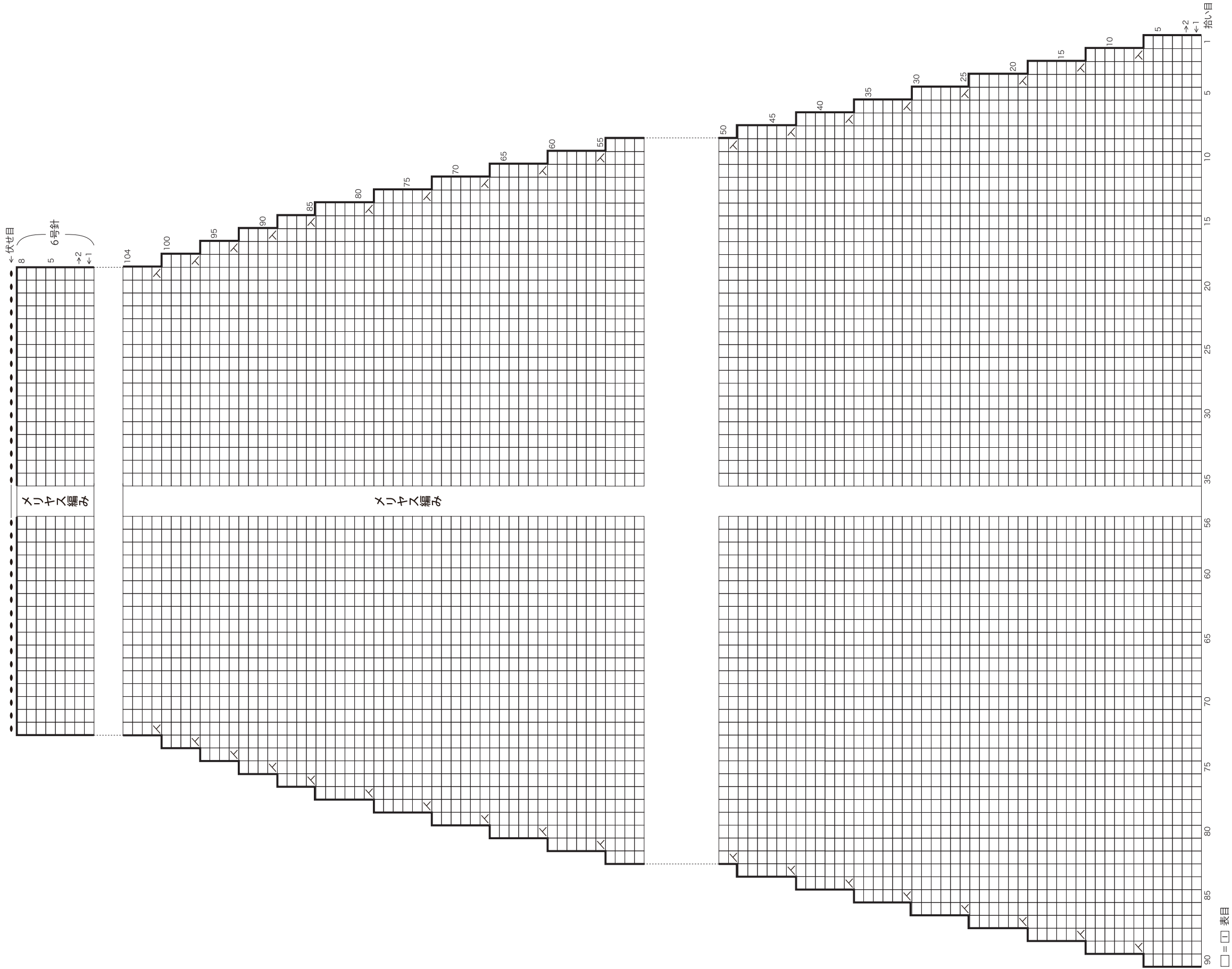




左後ろ衿へと続く



〈袖〉



ブリオッシュステッチソックス ☐ A ☐ B

[使用糸] スーパーウォッシュスパンニッシュメリノ **A** きなり(101)…45g(1玉)、ダークネイビー(107)…20g(1玉)
B ラピスラズリ(109)…45g(1玉)、ネオンイエロー(108)…20g(1玉)

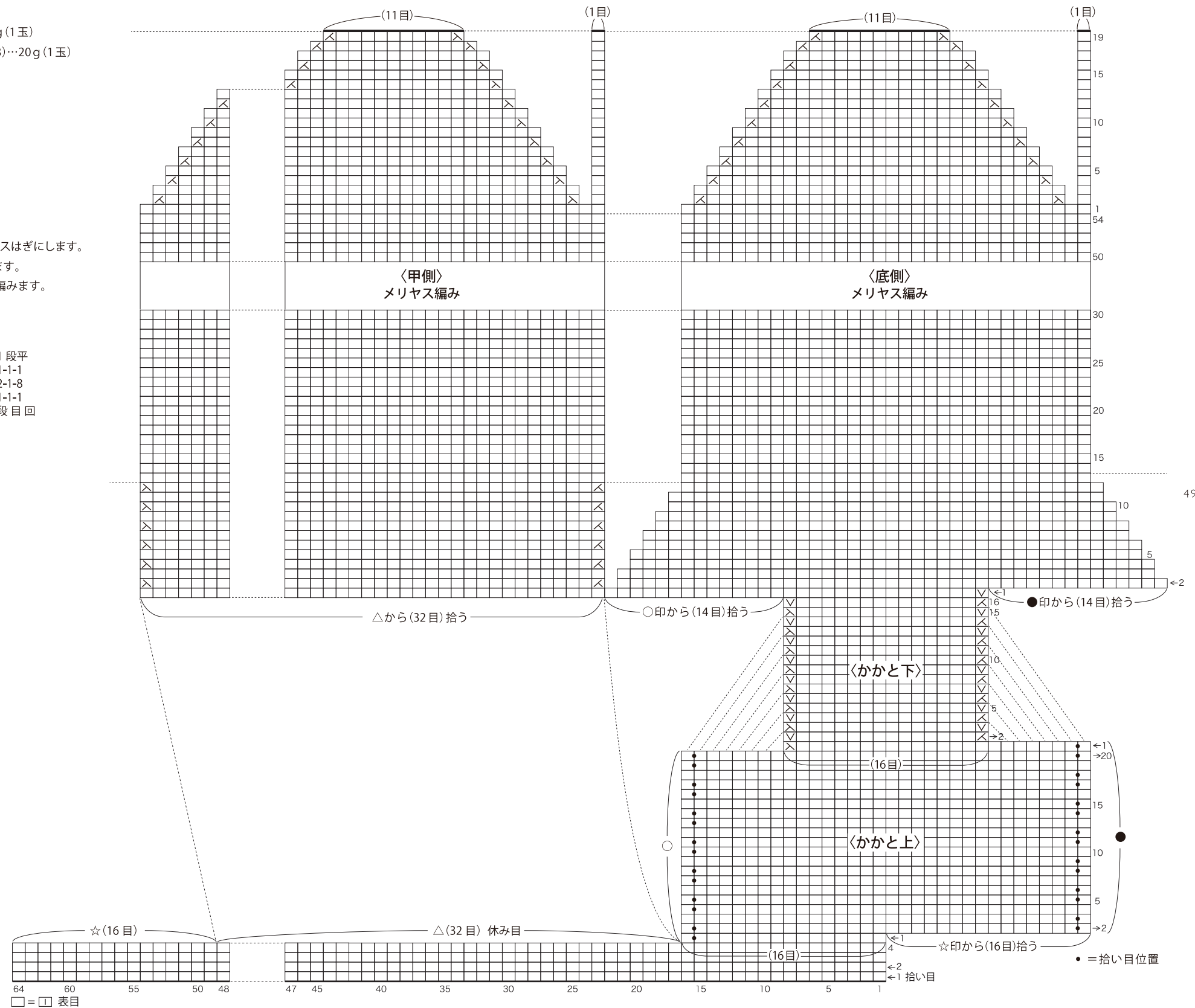
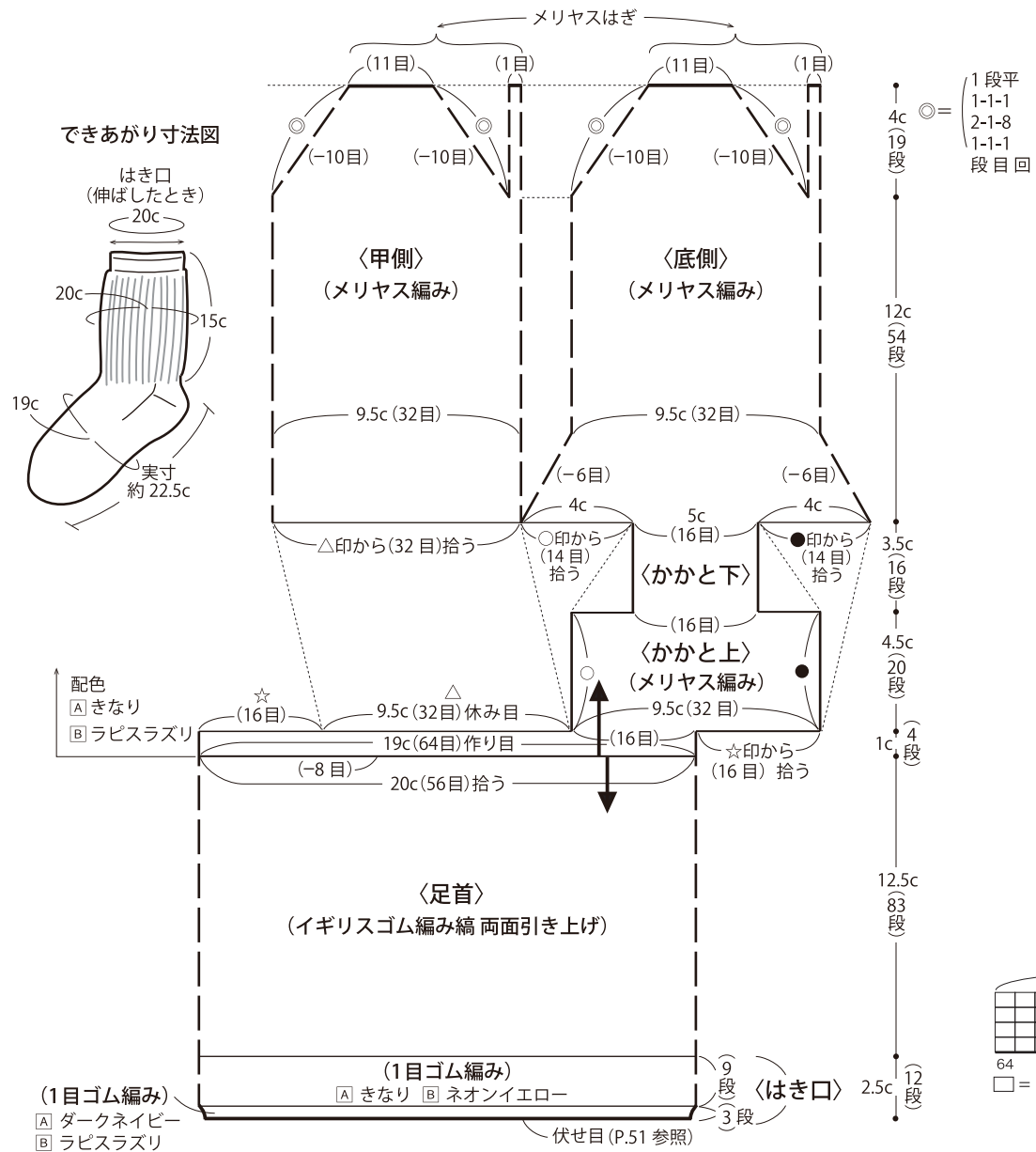
〔 使用針 〕 1号80cm 輪針または5本棒針

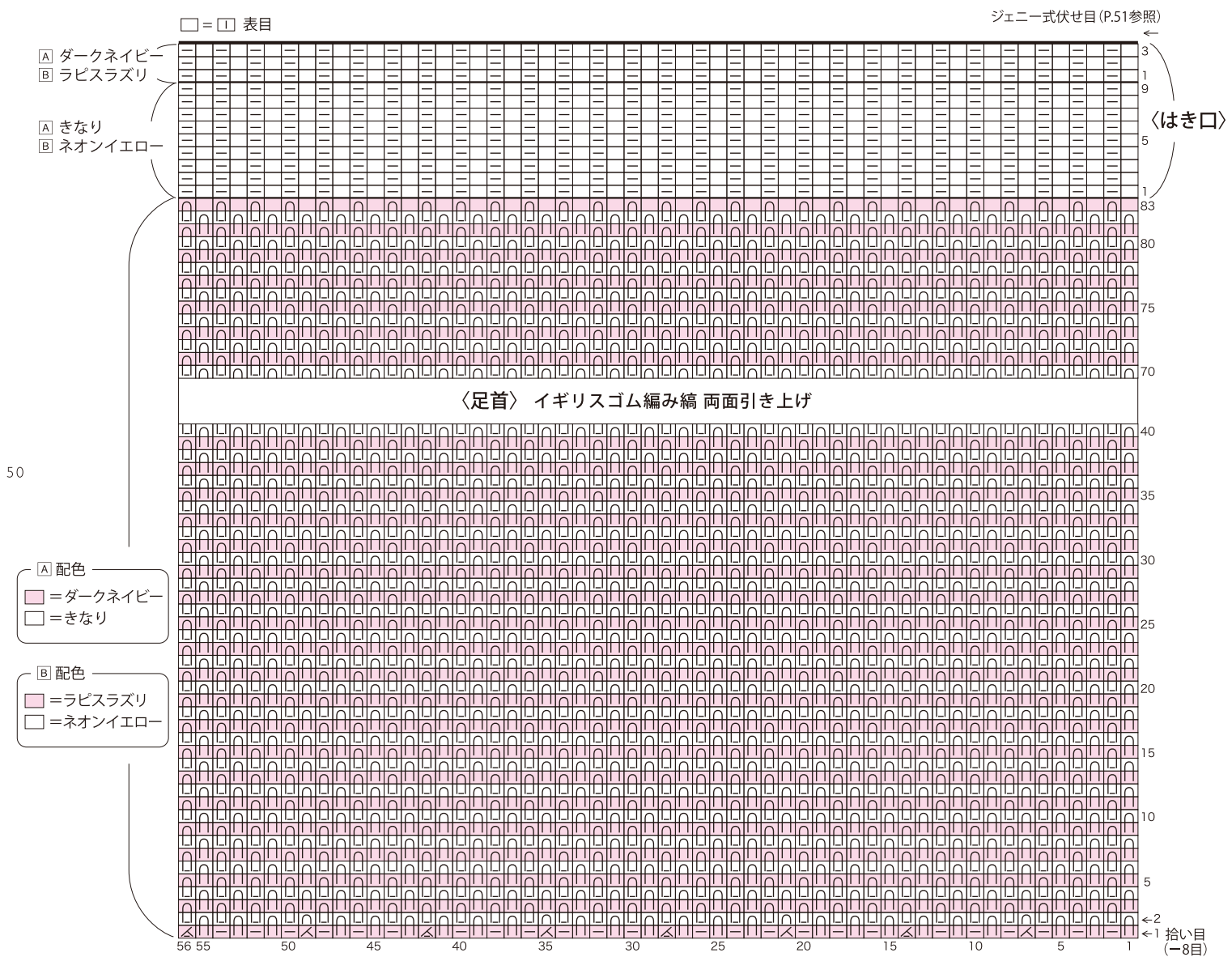
〔ゲージ〕メリヤス編み 10cm 角 34 目 × 45 段、イギリスゴム編み (両面引き上げ) 10cm 角 28 目 × 66 段

【できあがり寸法】 レディースMサイズ(参考足サイズ22～24cm)、はき口20cm、はき丈15cm

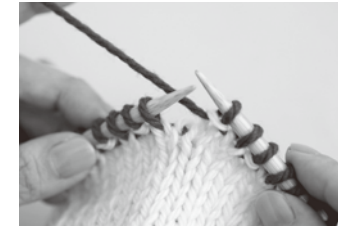
編み方要点

- 1** かかと上から編み始めます。別鎖の作り目を輪にしてメリヤス編みで編み、甲側の△印は休み目にしておきます。
かかと上は 16 目編み、裏に返して☆印から 16 目拾い(かかと上 計 32 目)、20 段往復で編みます。
かかと下は段の終わりにかかと上と 2 目一度、段の始めですべり目をしながら往復で編みます。
- 2** かかと下左→かかと上左(○印)→甲(△印)→かかと上右(●印)→かかと下右の順に目を拾いながら輪に編みます。
甲と底の境で 12 目減目をしてメリヤス編みで 54 段編みます。つま先は目を減らしながら 19 段編み、編み終わりはメリヤスはぎにします。
- 3** 足首からはき口を編みます。作り目をほどこき針に移して、1 段めで減目をしてイギリスゴム編みで色を替えながら編みます。
- 4** はき口は色を変えながら 1 目ゴム編みで編み、編み終わりはジェニー式の伏せ目(P.51 参照)をします。同じものを 2 枚編みます。





〈イギリスゴム編み縞の編み方〉 ※下記のプロセスは糸の種類や太さ、説明部分以外の編み方を変更している場合があります。



1 1段め、色の糸で
拾い目を編み終わったところ。



2 2段め、□色の糸に持ち替える。



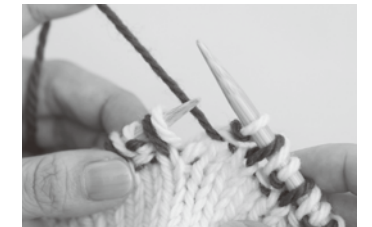
3 かけ目をして1目めをすべり目で編む。



4 2目めを裏目で編む。
3 ~ 4 を繰り返す。



5 □色の糸、2段目が編み終わったところ。



6 3段め、色の糸に持ち替える。



7 1 目め、前段のかけ目と
すべり目を一緒に表目で



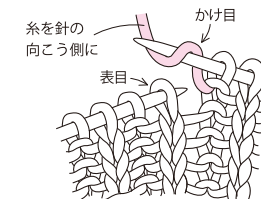
8 2 目めをかけ目、すべり目で編む。
7 ~ 8 を繰り返す。



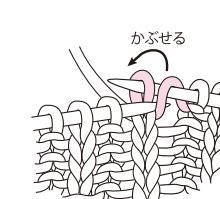
9  色の糸、3 段めが編み終わったところ。
2 ~ 8 を繰り返す。

Jeny's Surprisingly Stretchy Bind-Off ジェニー式伏せ目 (伸縮性のある伏せ目)

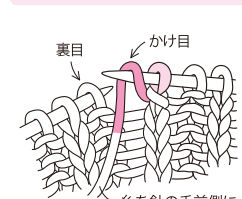
Jeny Staimanさんが編み出した止め方の手法で、従来の伏せ目よりも伸縮性があります。



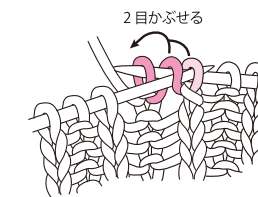
1 向こう側から手前にかけて目をする。
次の目を表目で編む。



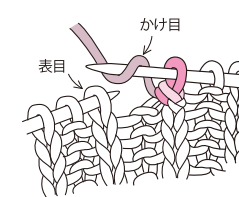
2 編んだ表目に手前のかけ目をかぶせる。



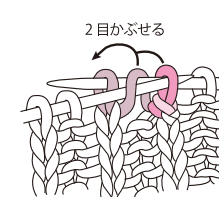
3 手前から向こう側にかけ目をする。
次の目を裏目で編む。



4 編んだ裏目に、手前のかけ目と
2 で伏せた目の2目分をかぶせる。



5 向こう側から手前にかけ目をする。
次の目を表目で編む。



6 編んだ表目に、手前のかけ目と
4 で伏せた目の2目分をかぶせる。
3 ~ 6 を繰り返す。

オープンワークプルオーバー

- [使用系]

スパニッシュメリノ きなり(1)…565g(12玉)
- [使用針]

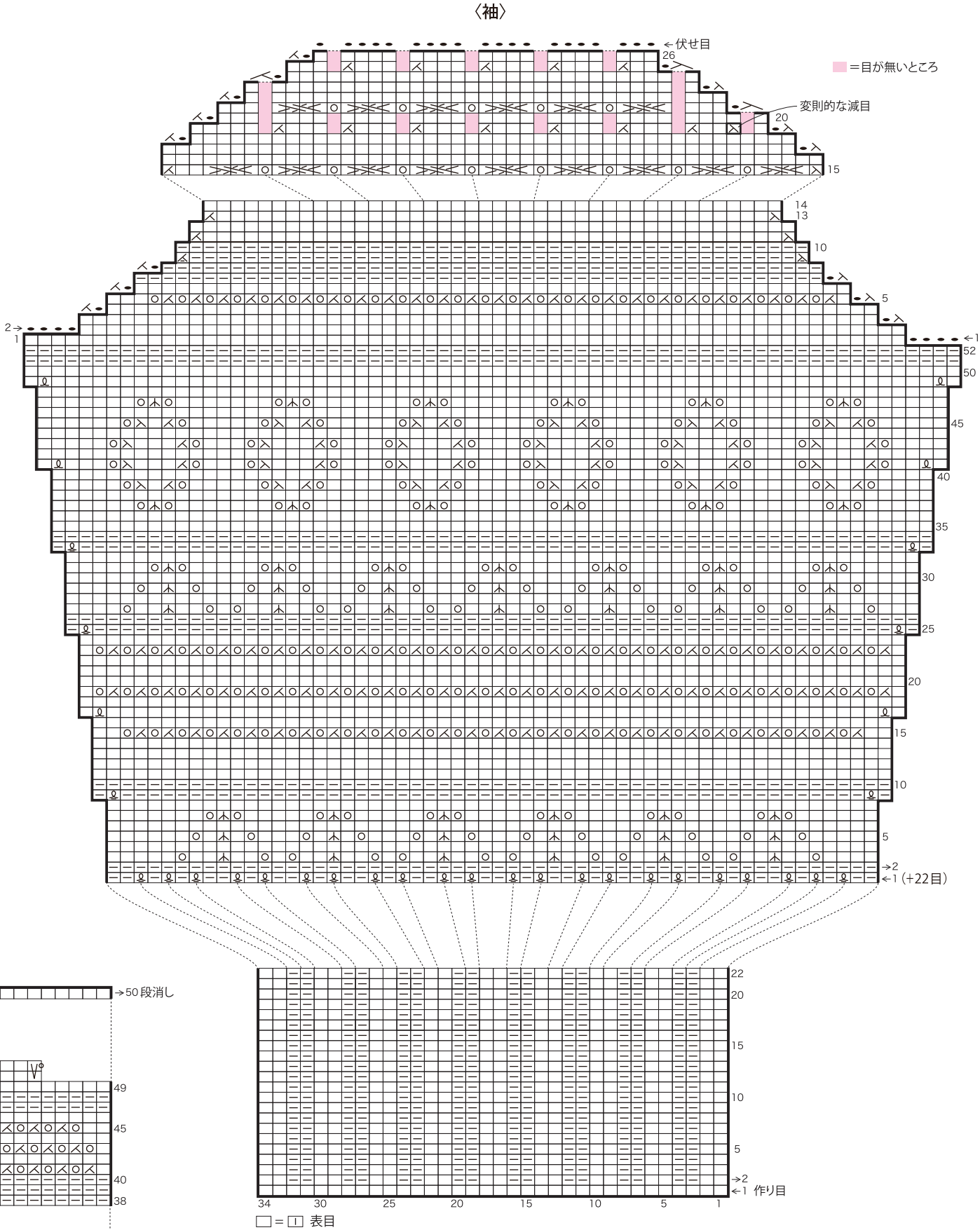
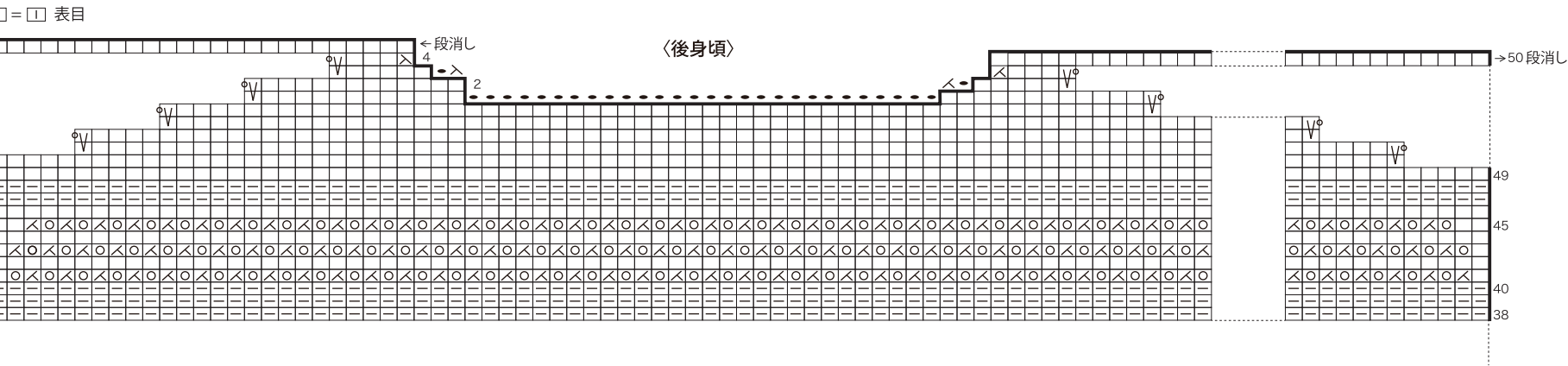
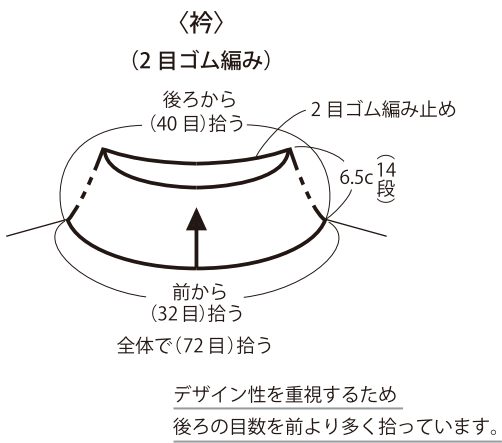
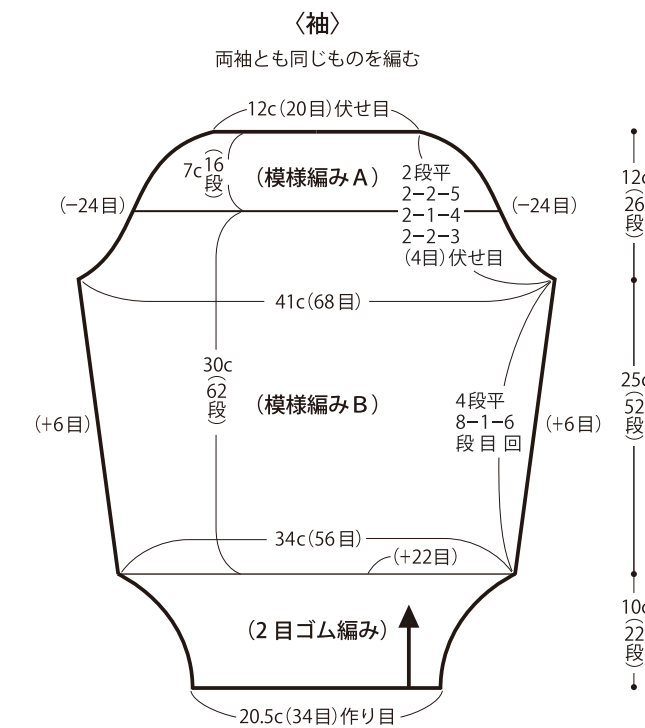
12号玉付き2本棒針、12号4本棒針
- [ゲージ]

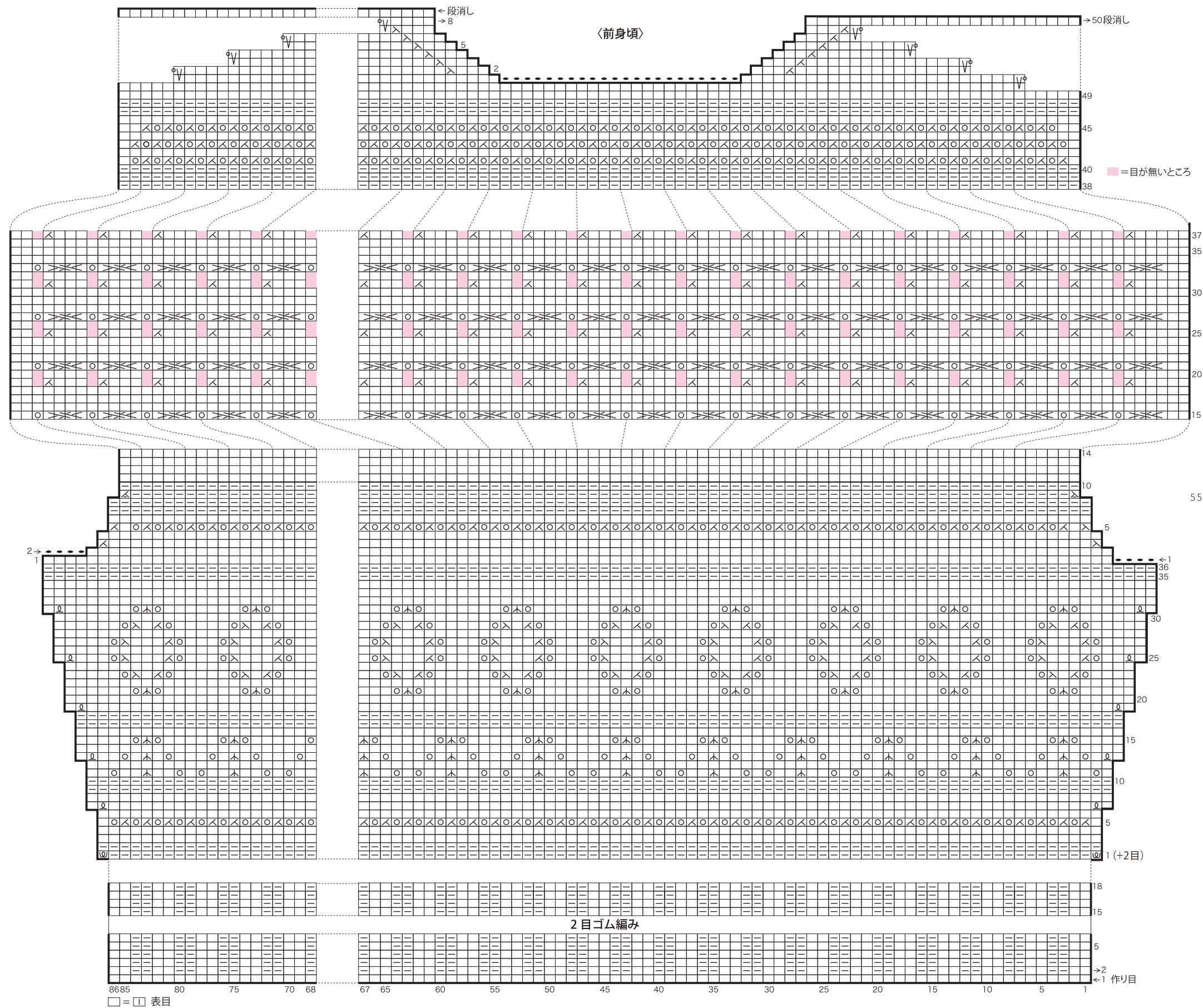
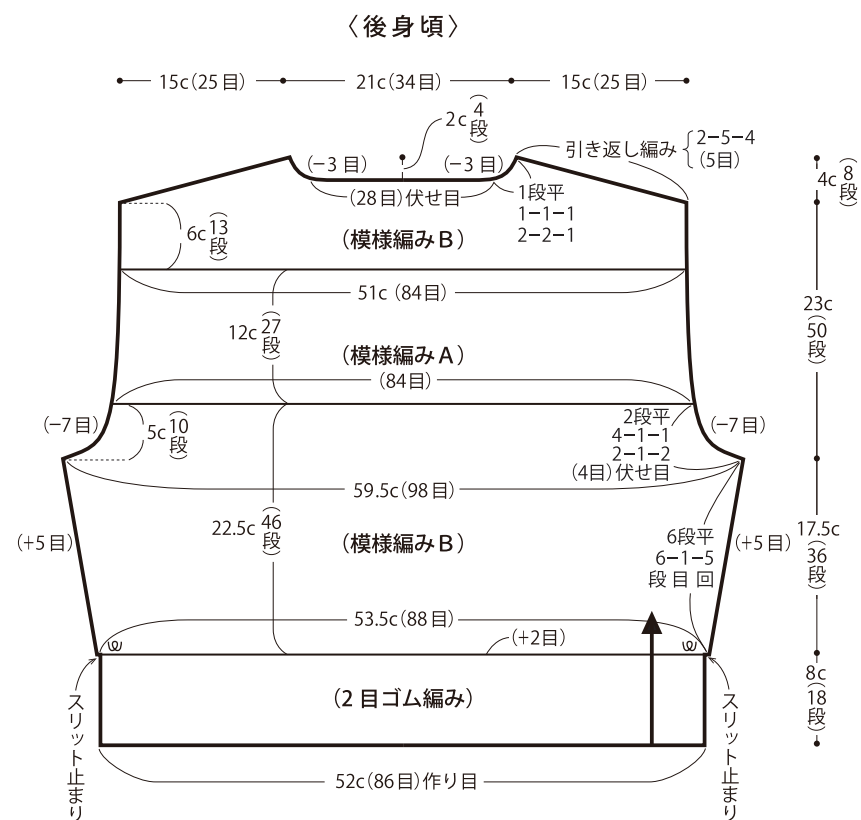
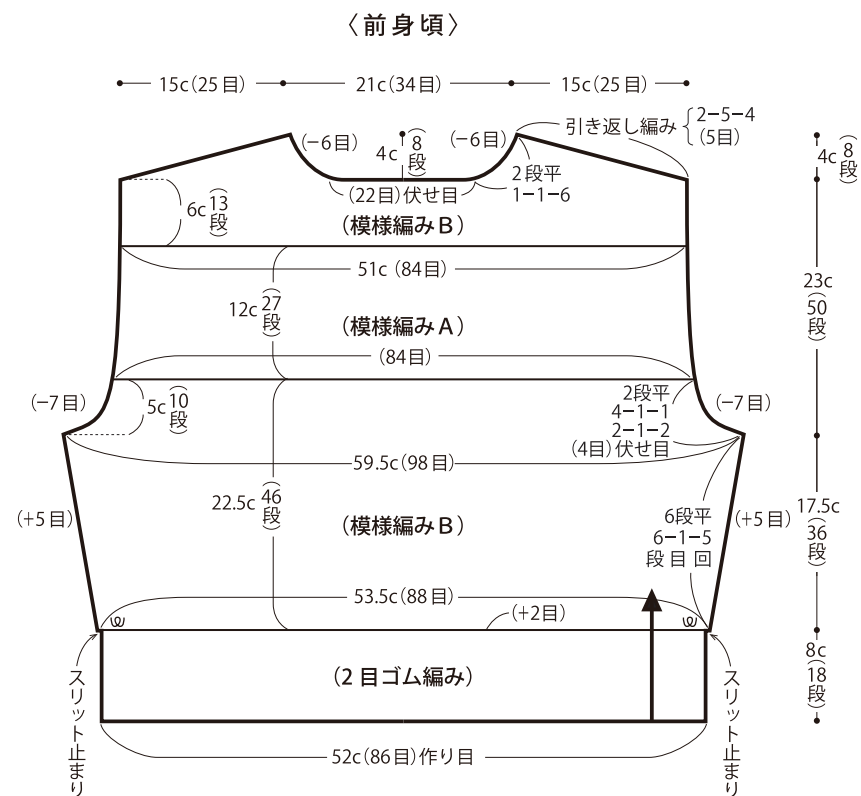
模様編みA 10cm角16.5目×22.5段、模様編みB 10cm角16.5目×20.5段、2目ゴム編み 10cm角16.5目×22段
- [できあがり寸法]

胸囲119cm、着丈52.5cm、ゆき丈72.5cm

編み方要点

- 1 前後身頃は指でかける作り目をして2目ゴム編みで編みます。続けて模様編みBの1段めで増し目をして編みます。
- 2 袖は指でかける作り目をして2目ゴム編みで編みます。模様編みBの1段めで増し目をして、袖下はねじり目の増し目をして編みます。
- 3 肩はかぶせはぎ、袖下、脇はスリット止まりまですくいとじします。
- 4 袖は中表に合わせ身頃にかぎ針で引き抜きます。
- 5 衿は身頃から目を拾い、輪にして2目ゴム編みで編みます。編み終わりは2目ゴム編み止めをします。





WRAP UP WARM ! ミトン A B

- 使用糸

ランプイエメリノウール Aきなり(1)…50g(1玉)、ビビットピンク(12)…15g(1玉)
Bブラック(6)…50g(1玉)、パールイエロー(10)…15g(1玉)
- 使用針

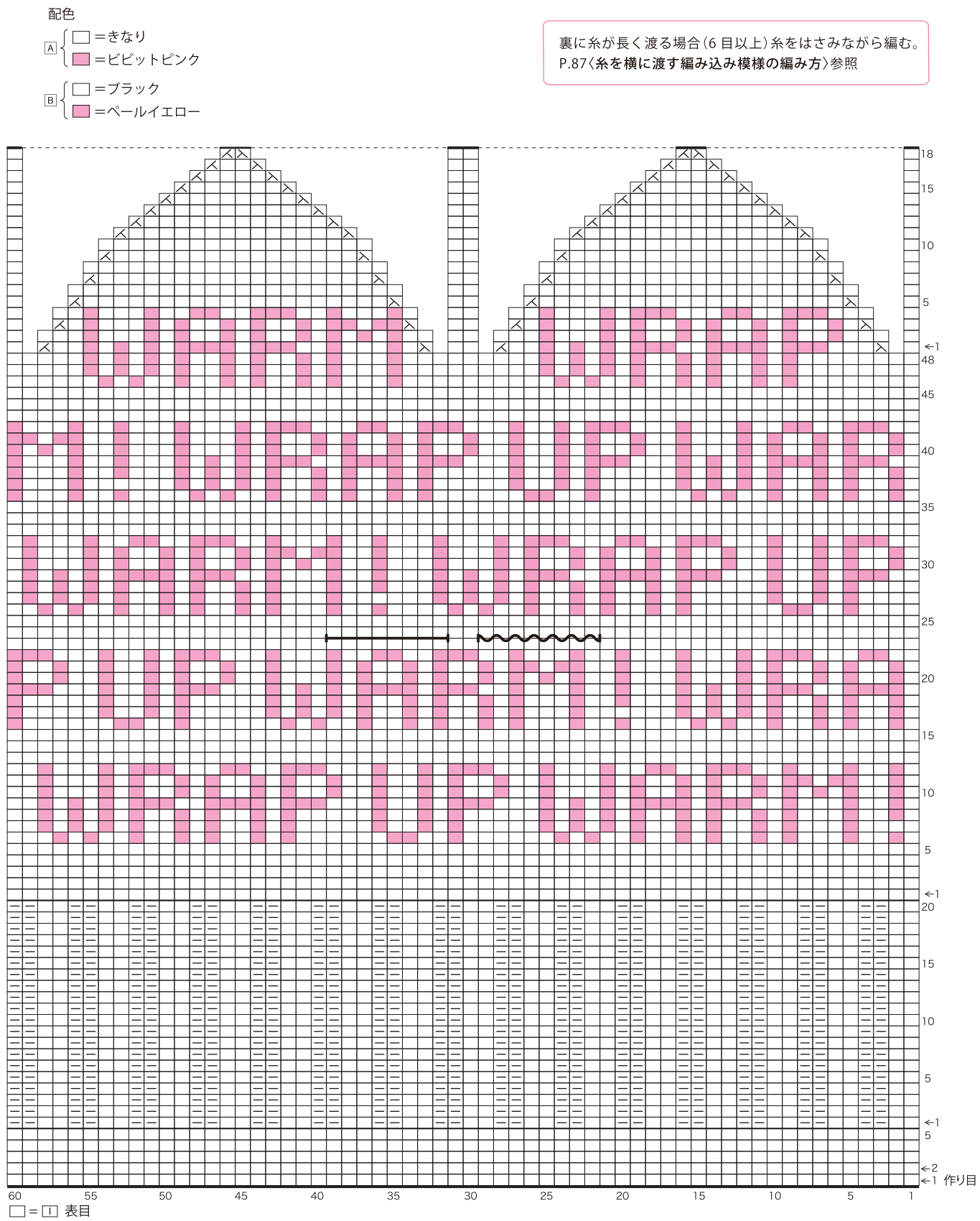
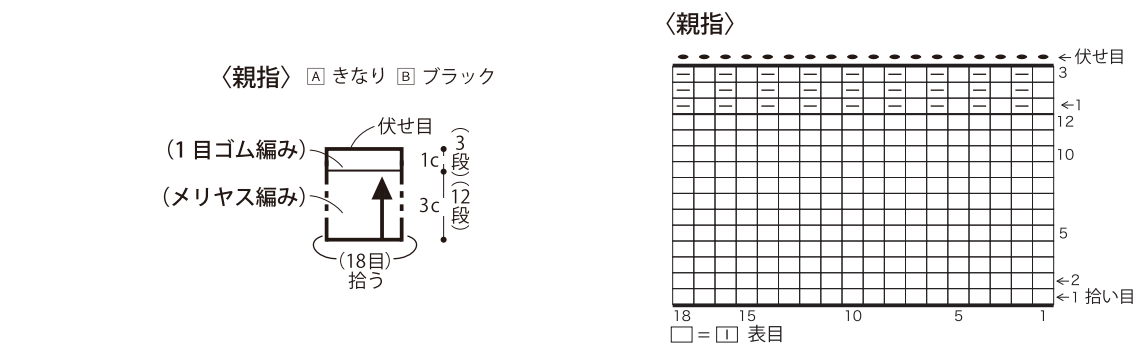
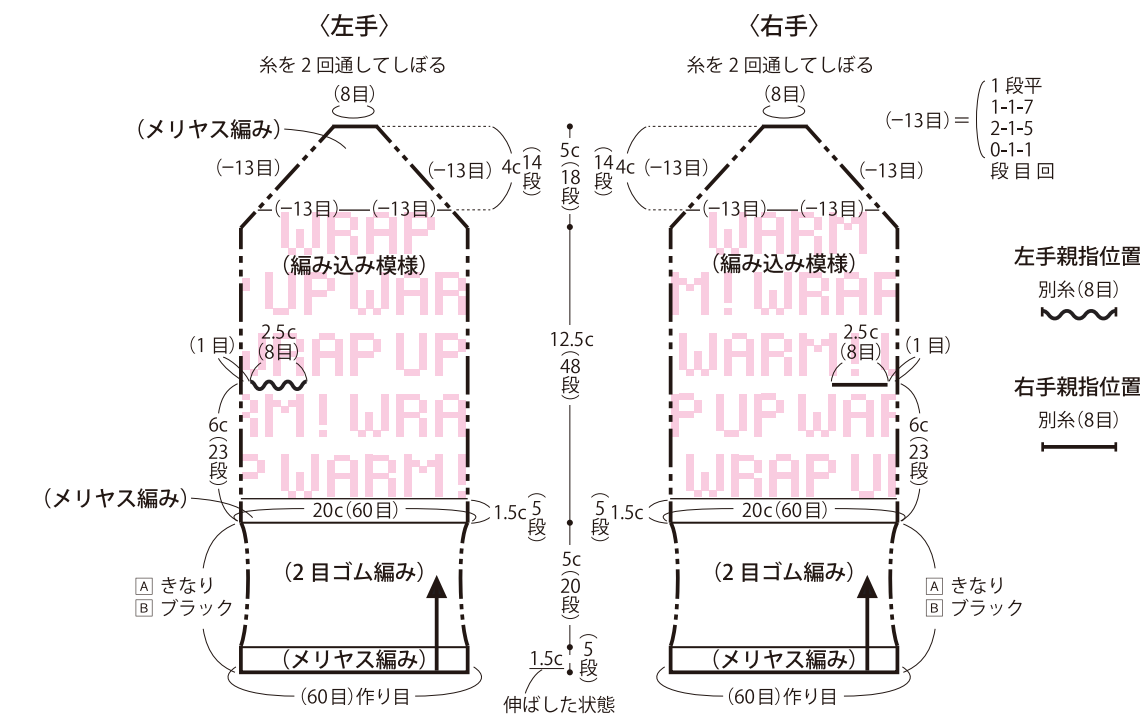
4号4本棒針
- ゲージ

編み込み模様 10cm角 30目×38.5段、メリヤス編み 10cm角 30目×36段、10cm=40段(親指)、2目ゴム編み 5cm=20段
- できあがり寸法

深さ 23.5cm(入れ口のメリヤス編みがロールした状態)、手の平回り 20cm

編み方要点

- 1 指でかける作り目を輪にしてメリヤス編み、2目ゴム編みで編みます。
続けて編み込み模様(糸を横に渡す)で編み、親指位置には別糸を編み入れておきます。
- 2 指先の減目をしながら編み、編み終わりは残った全目に糸を2回通して絞ります。
- 3 親指は別糸をほどき針に取り、目を拾い輪にしてメリヤス編みと1目ゴム編みで編みます。
編み終わりは表目は表、裏目は裏で伏せ目にします。

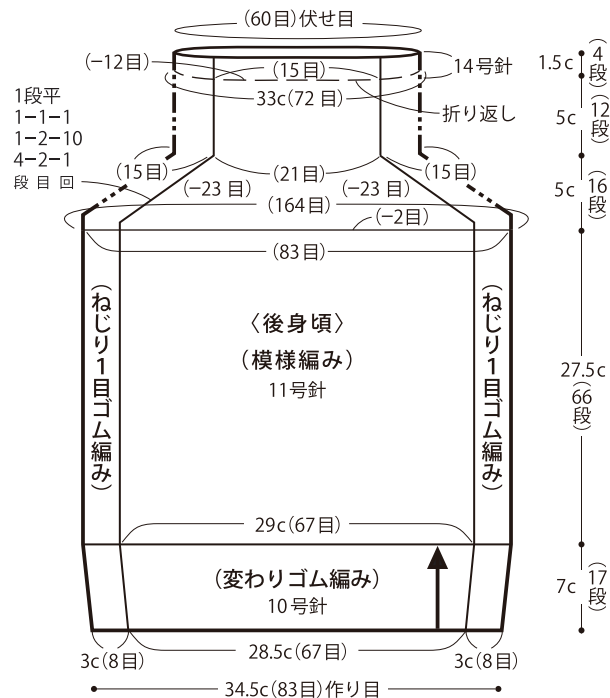


ケーブルショルダーウォーマー

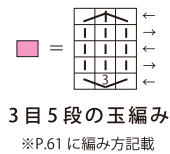
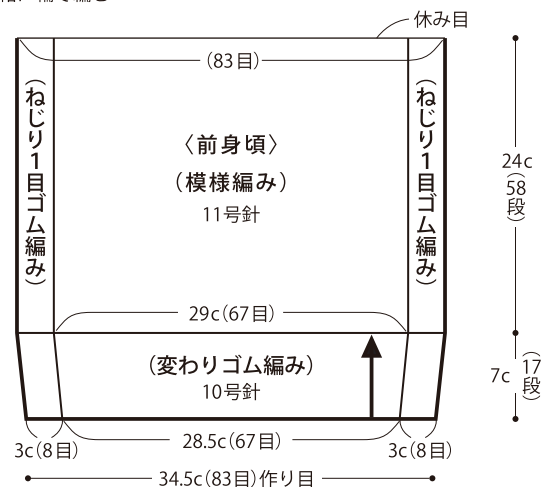
〔 使用糸 〕	フーランドウール ライトグレー(4)…205g(5玉)
〔 使用針 〕	10号 11号玉付き2本棒針、11号 14号4本棒針
〔 ゲージ 〕	模様編み10cm角23目×24段、変わりゴム編み10cm角23.5目×24.5段、ねじり1目ゴム編み3cm=8目
〔 できあがり寸法 〕	丈44.5cm(後身頃)、身幅35cm

編み方要点

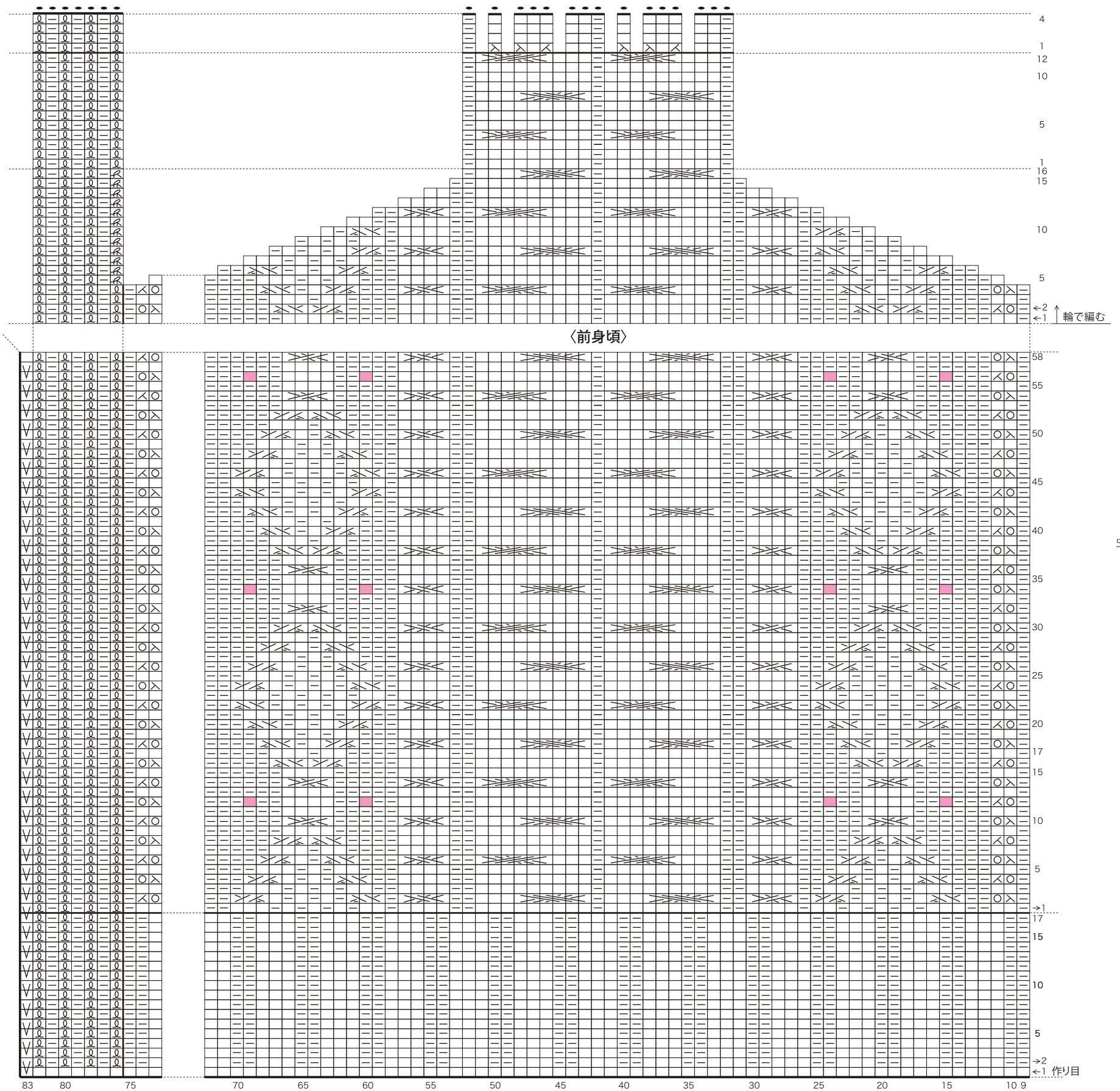
- 1** 先に前身頃から編みます。指でかける作り目をして変わりゴム編みとねじり1目ゴム編みで編みます。
針を替えて模様編みとねじり1目ゴム編みで編み、目を休めておきます。
- 2** 後身頃も前身頃と同様に編み始め、肩からは前身頃と合わせて減目をしながら輪で編みます。
- 3** 衿は続けて編み、最後の4段は針を替えて編みます。編み終わりはゆるめに伏せ目をして折り返してまつります。



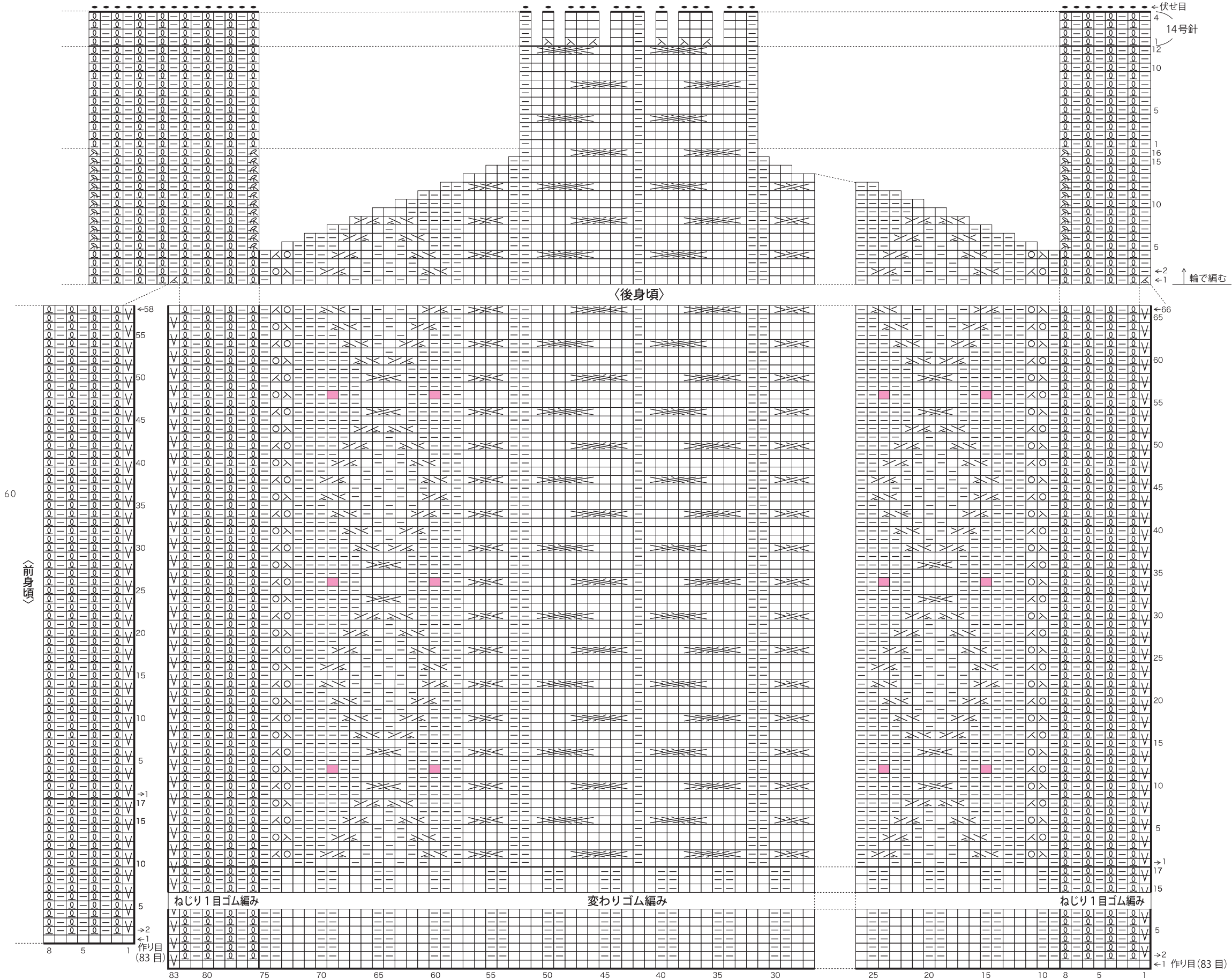
※先に前身頃を編み
肩から後身頃と一緒に輪で編む



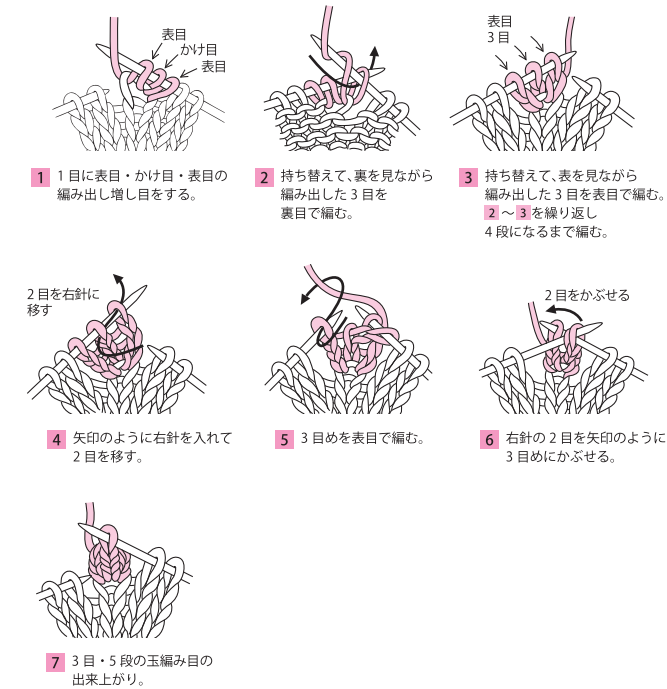
□ = □ 表目



編み始めは P.60



3 目 5 段の玉編み



クロスエメッシュカーディガン

- [使用系]

ランプイエメリノウール きなり(1)…535g(11玉)
- [使用針]

3/0号かぎ針、2/0号かぎ針(仕上げ用)、4号玉付き2本棒針
- [付属品]

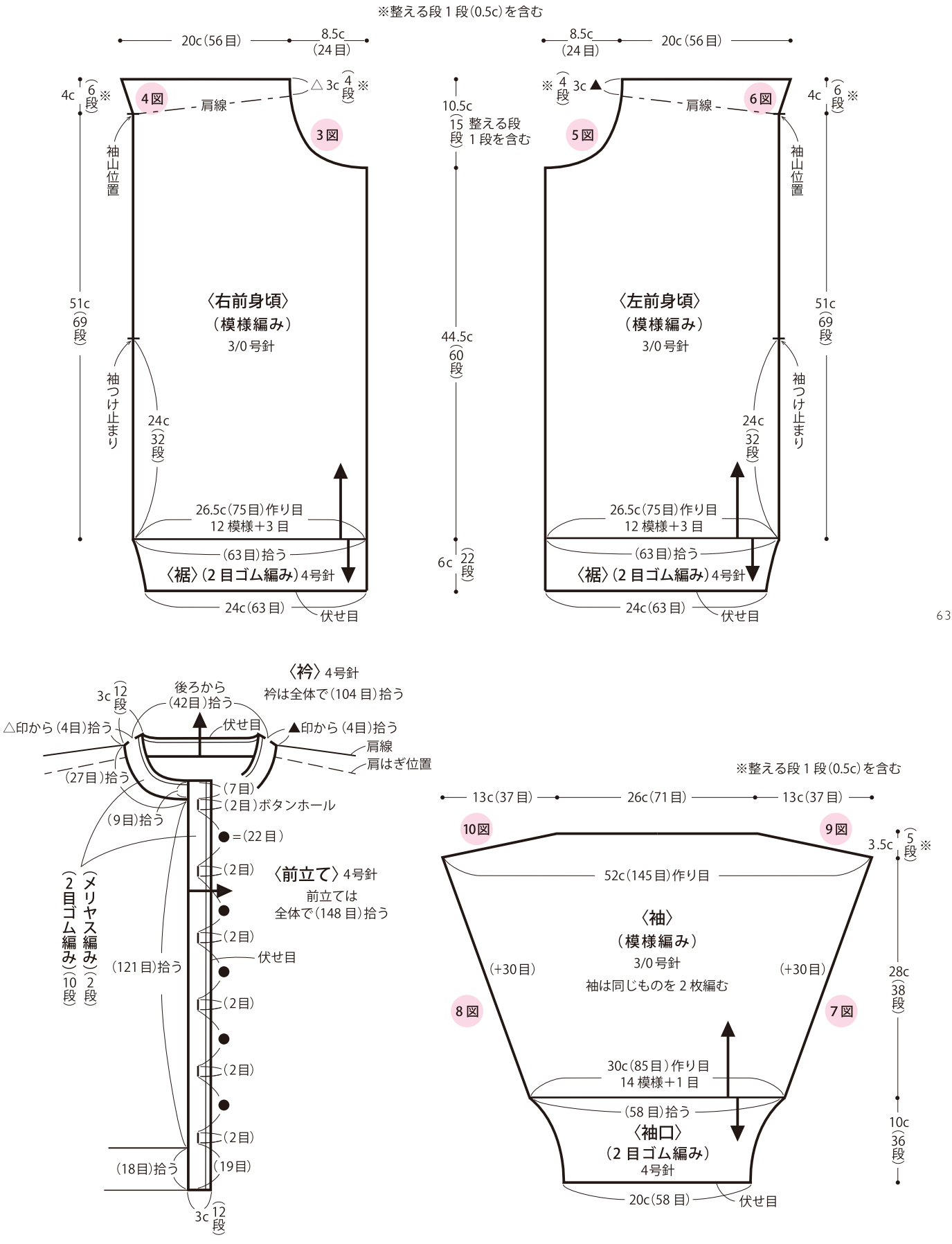
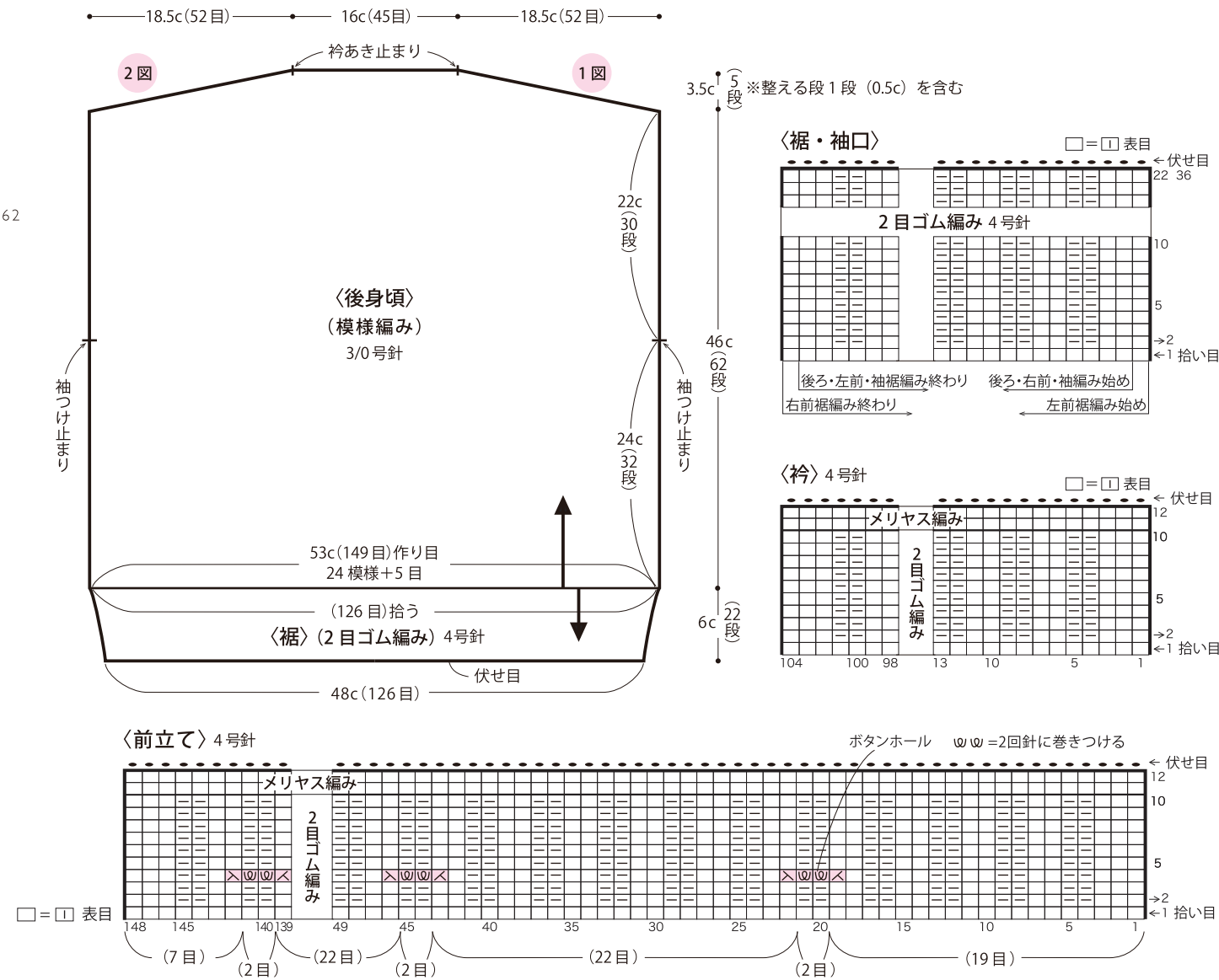
ボタン(直径1.6cm)6個
- [ゲージ]

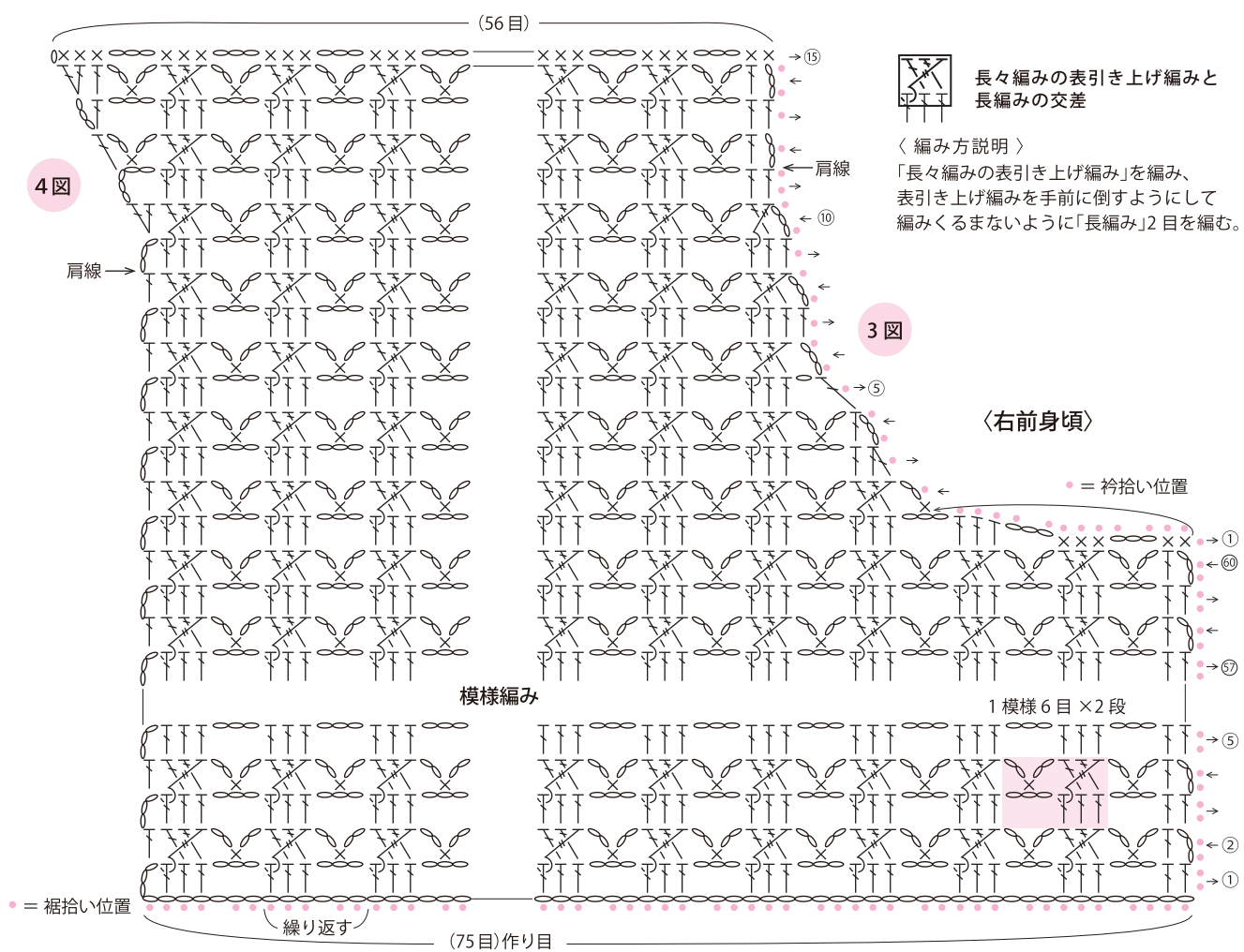
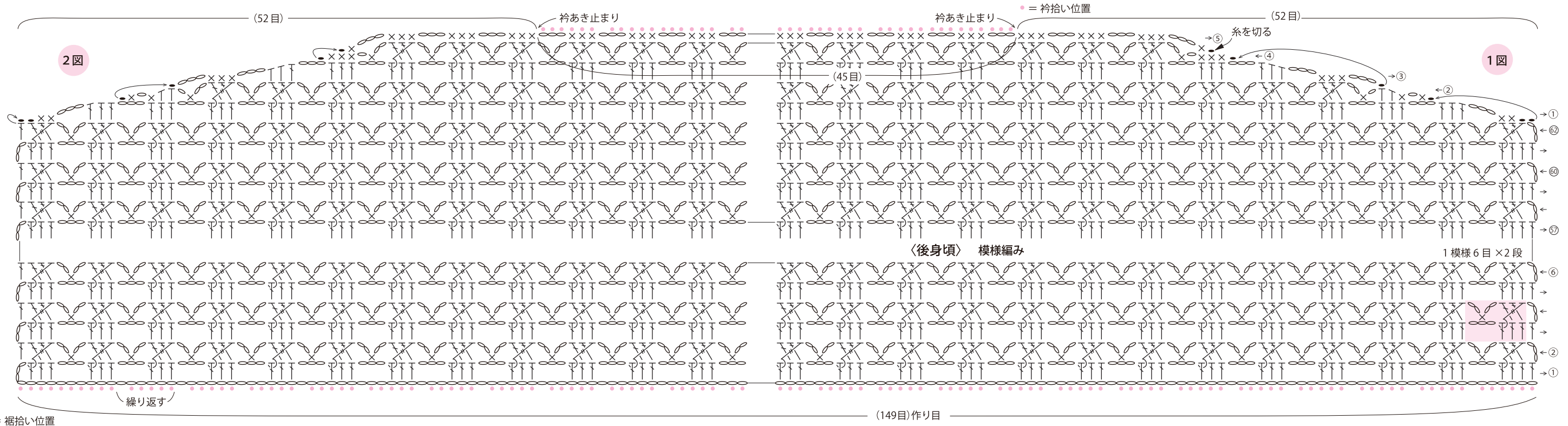
模様編み 10cm角 28目×13.5段、2目ゴム編み 10cm角 26目×36段
- [できあがり寸法]

胸囲113cm、着丈55.5cm、袖丈41.5cm、背肩幅53cm

編み方要点

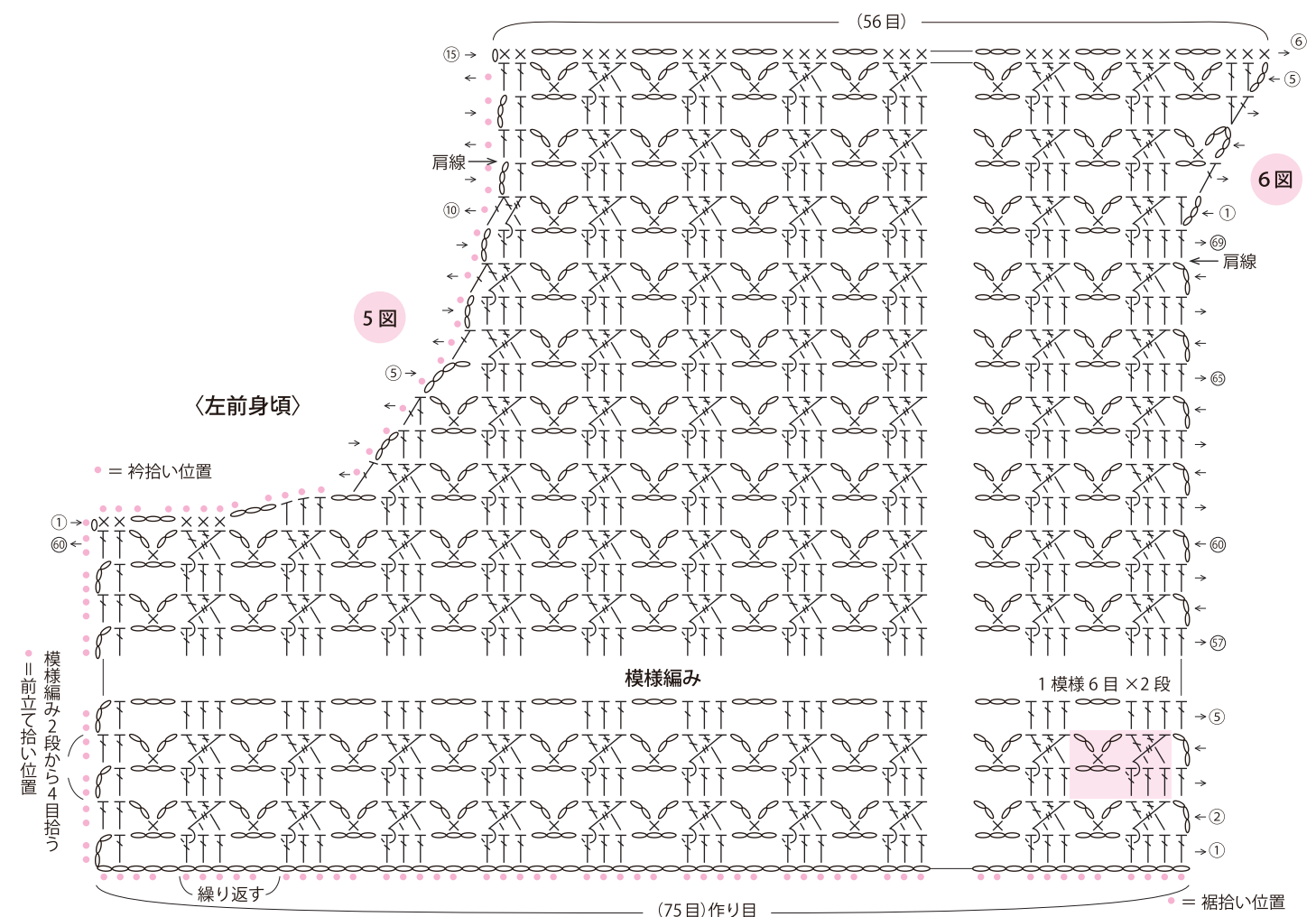
- 1 前後身頃は鎖の作り目をして半目と裏山を拾い、3/0号針で模様編みで編みます(2段めが表側)。
裾は4号針で作目目の残った1本を指示の位置で拾い2目ゴム編みを編みます。編み終わりは表目は表、裏目は裏で伏せ目にします。
- 2 袖も前後身頃と同様に編みます。
- 3 肩は2/0号針で引き抜き鎖はぎにします。
- 4 衿は身頃から目を拾い、2目ゴム編みで編み、最後の2段はメリヤス編みで編みます。編み終わりは表目で伏せ目にします。
- 5 前立ては裾、身頃、衿から目を拾い、衿と同様に編みます。右前立てにはボタンホールを作ります。
- 6 袖は身頃に引き抜き鎖はぎでつけ、脇と袖下はすくいとじと引き抜き鎖とじにします。
- 7 ボタンをつけて仕上げます。





長々編みの表引き上げ編みと
長編みの交差

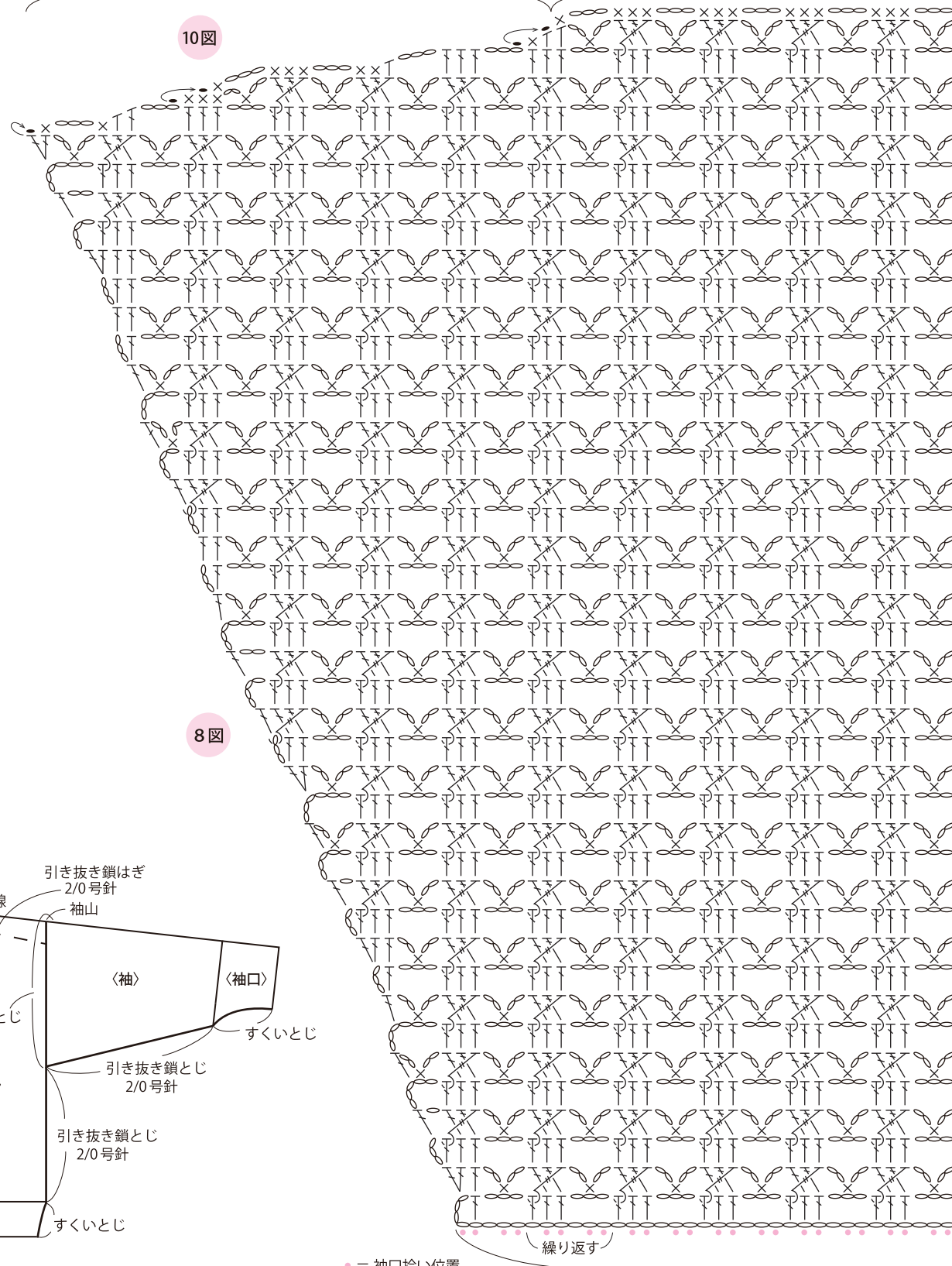
〈編み方説明〉
「長々編みの表引き上げ編み」を編み、
表引き上げ編みを手前に倒すようにして
編みくるまないように「長編み」2目を編む。



〈袖〉

(37 目)

10 図



8 図

● = 袖口拾い位置

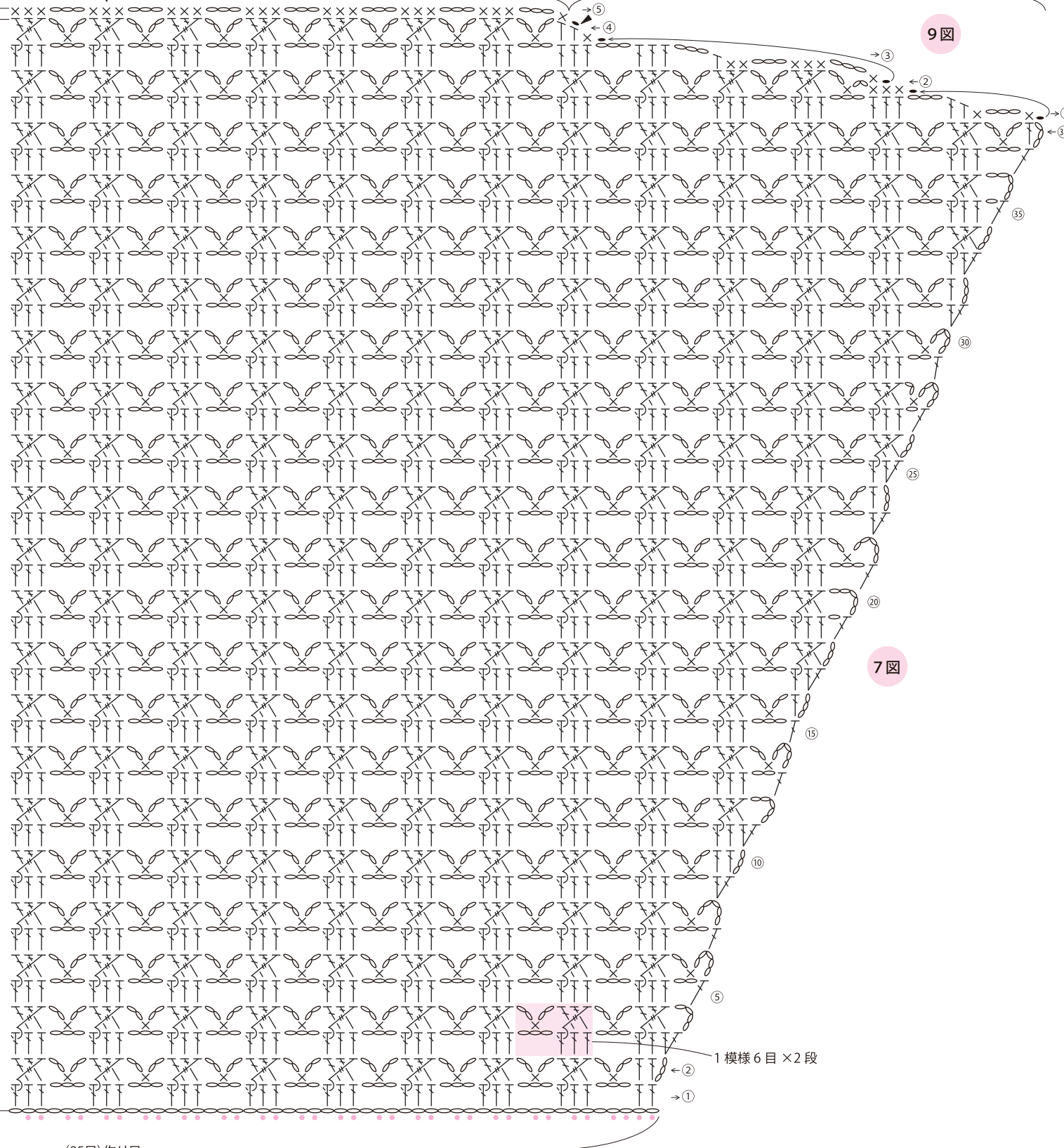
繰り返す

袖中心

(71 目)

(37 目)

9 図

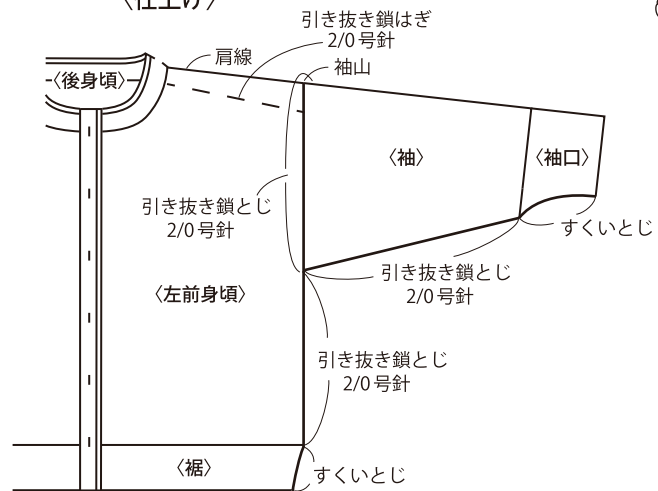


7 図

1 模様 6 目 × 2 段

(85 目) 作り目

〈仕上げ〉



フードスカーフ A B

- 使用系

空気をまぜて糸にしたウールアルパカ

A ライトグレー(7)…100g(4玉)

B ブラック(9)…100g(4玉)
- 使用針

5号玉付き2本棒針
- ゲージ

メリヤス編み 10cm角 22.5目×31.5段、模様編み 10cm角 22.5目×31.5段
- できあがり寸法

図参照

- 編み方要点

1

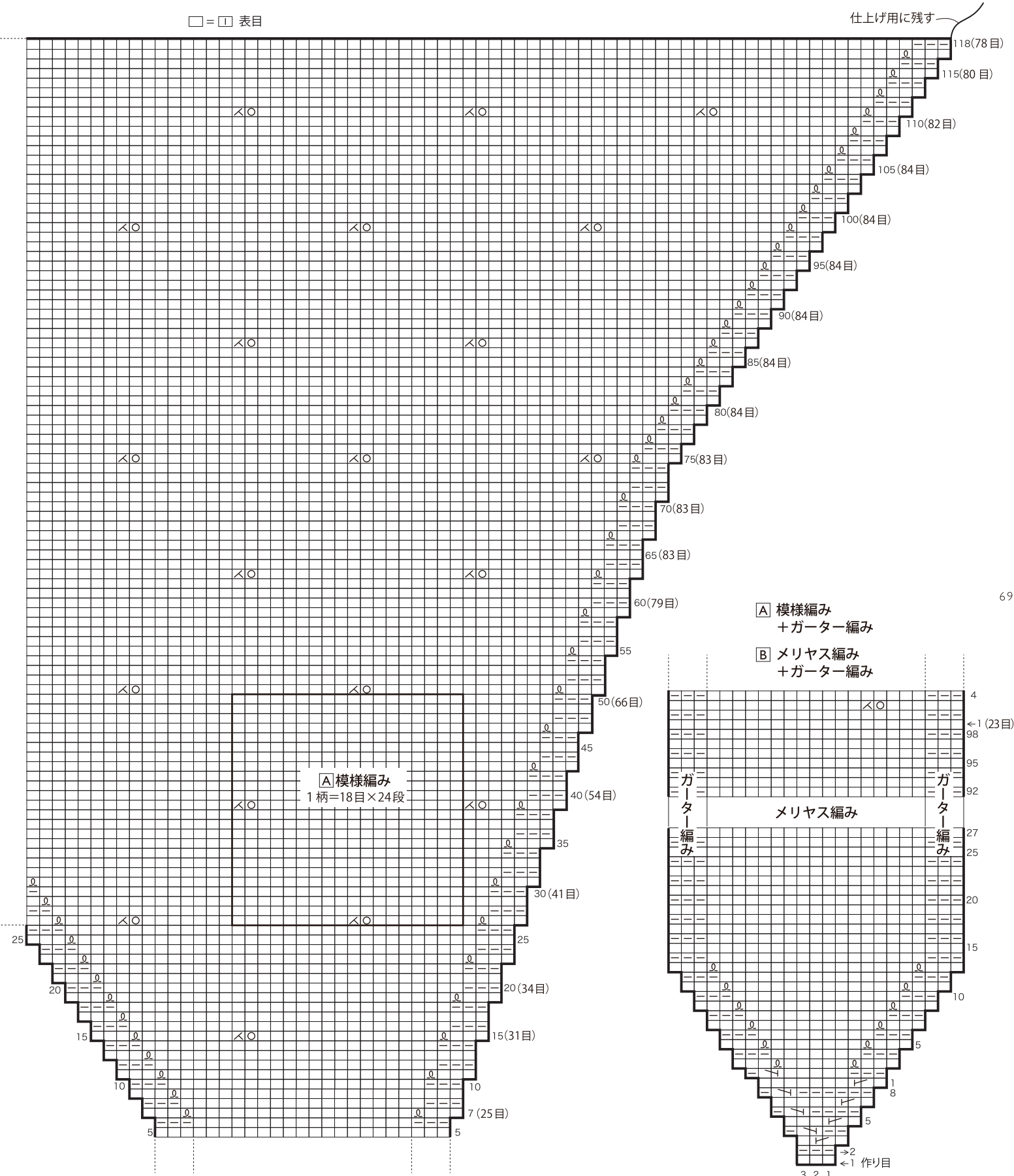
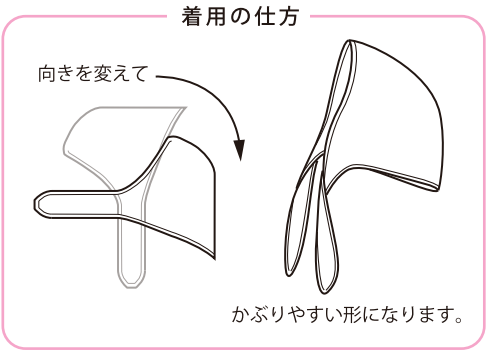
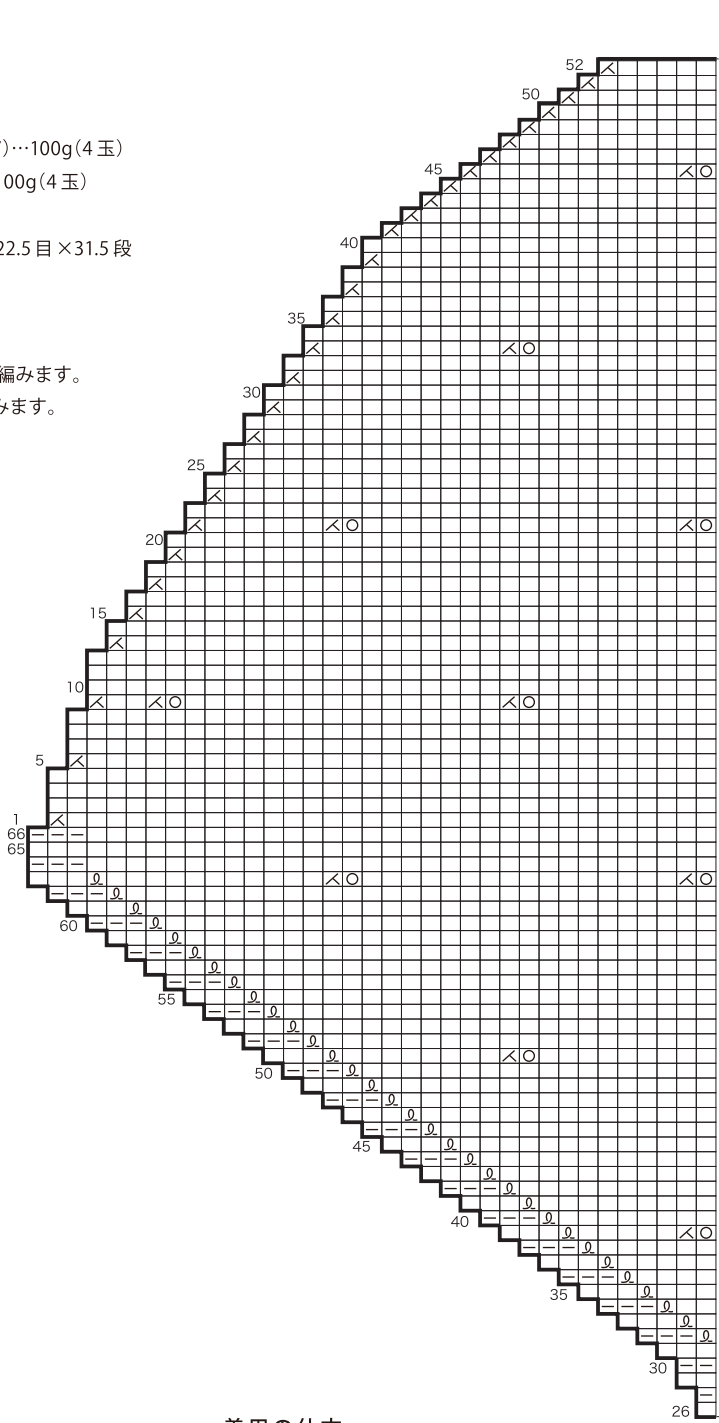
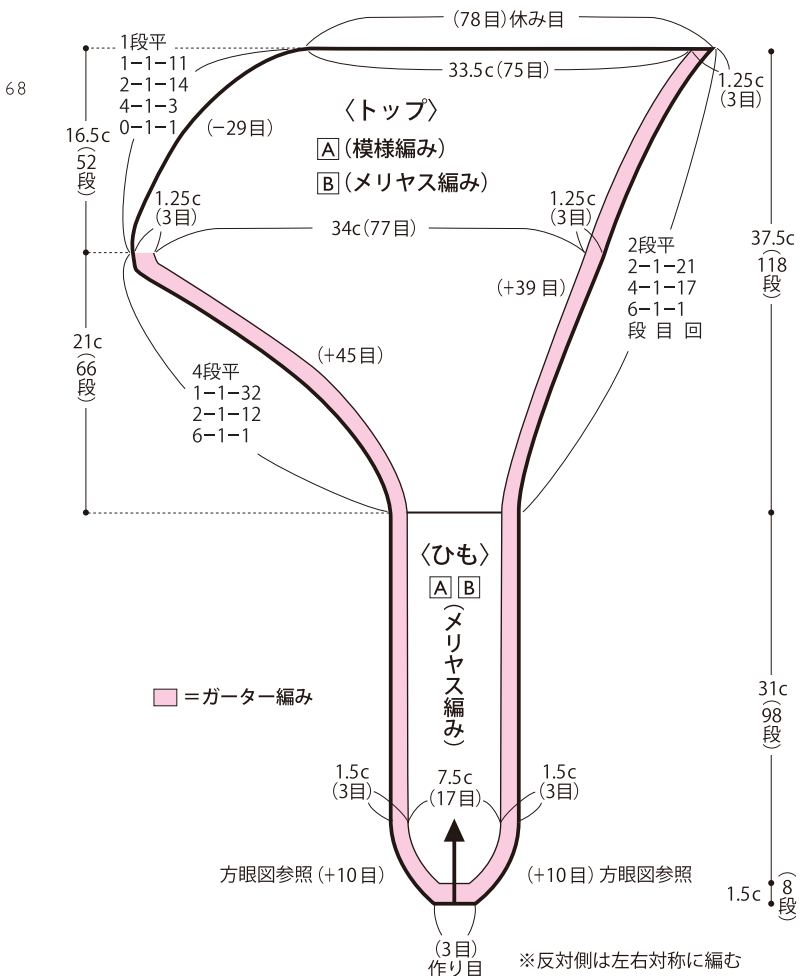
ひもは指でかける作り目をして増目をしながらメリヤス編みとガーター編みで編みます。
トップはAは模様編みとガーター編み、Bはメリヤス編みとガーター編みで編みます。

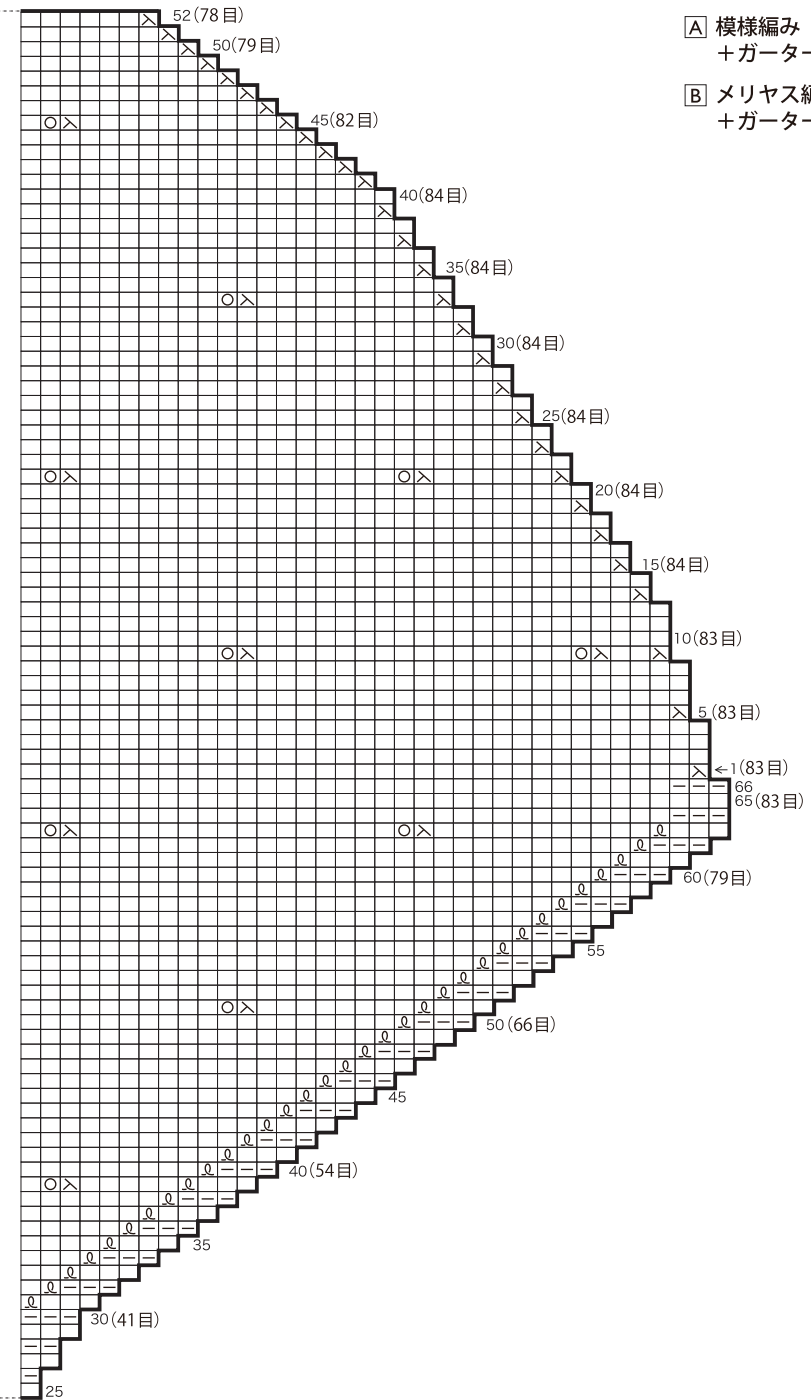
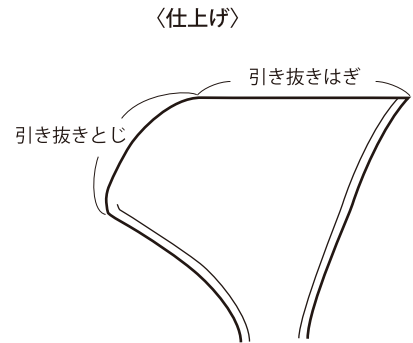
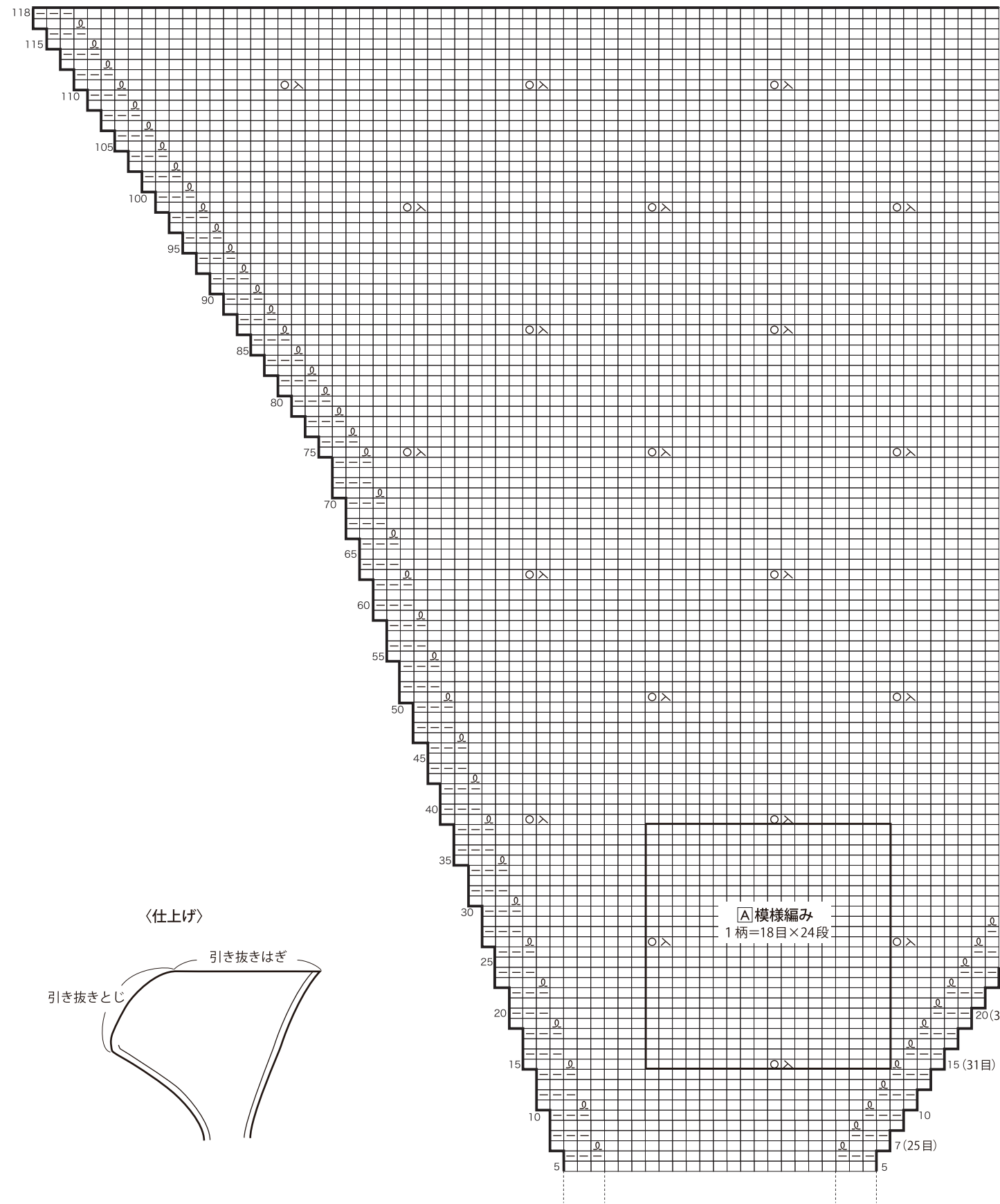
2

編み終わりは休みにしておき、方眼図(右側のみの)の編み終わりは
仕上げ用に糸を切らずに残しておきます。
左右対称に2枚編みます。

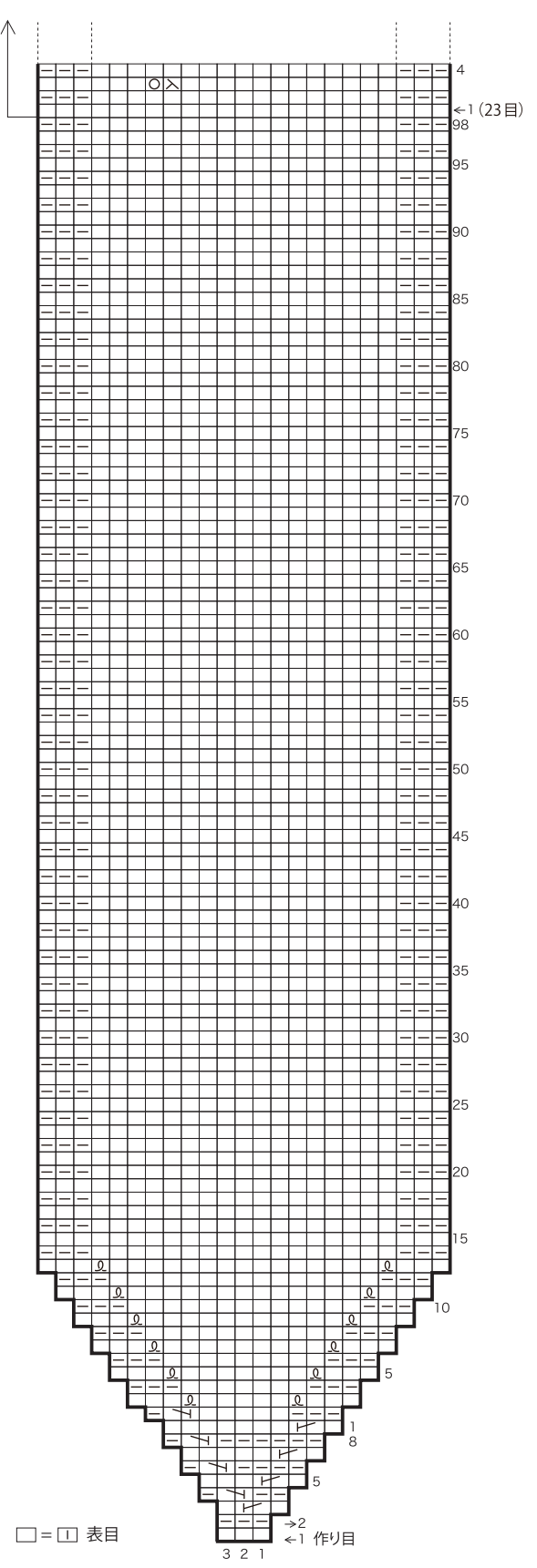
3

2枚を中表にして引き抜きはぎと引き抜きとじにします。





- A 模様編み
+ ガーター編み
- B メリヤス編み
+ ガーター編み



□ = □ 表目
3 2 1
→2
←1 作り目

ジグザグヨーク模様のプルオーバー

- [使用糸]

ウールローピング ブラック(9)…420g(9玉)、グレー(7)…90g(2玉)、きなり(1)…35g(1玉)、
ライトグレー(6)…15g(1玉)、キャロット(8)…15g(1玉)
- [使用針]

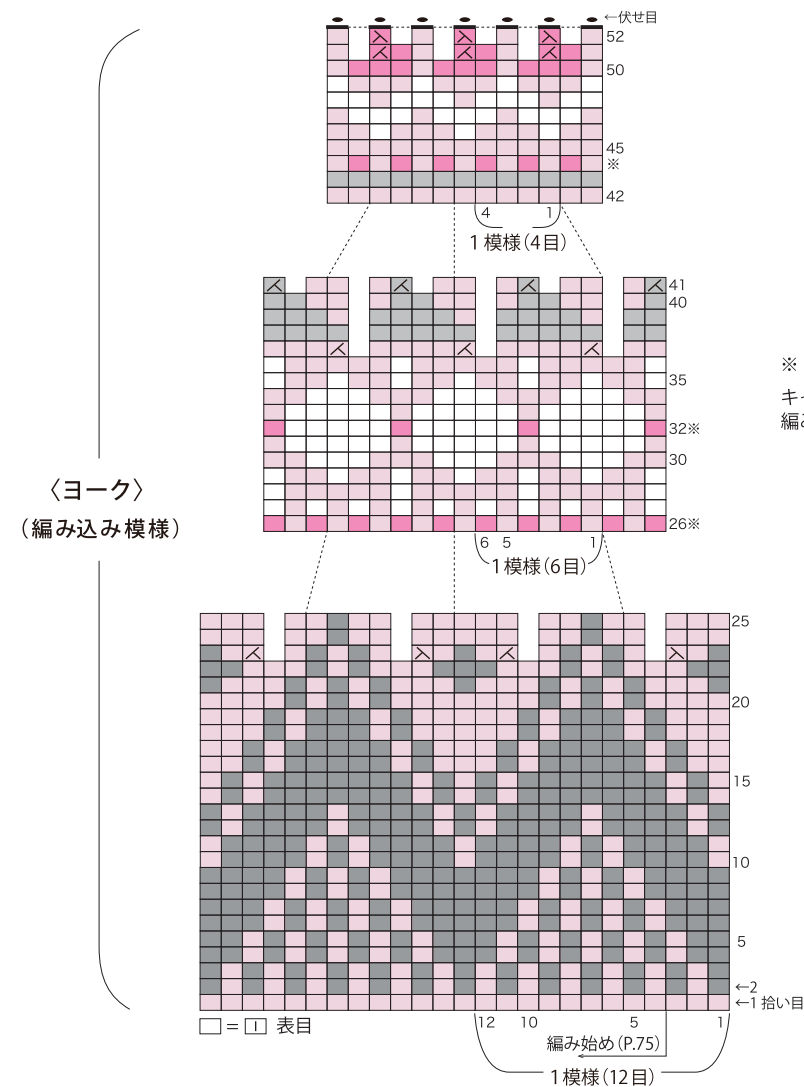
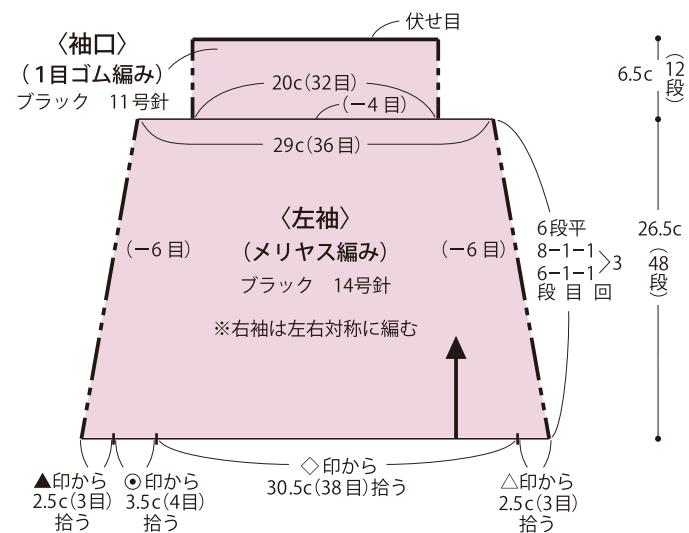
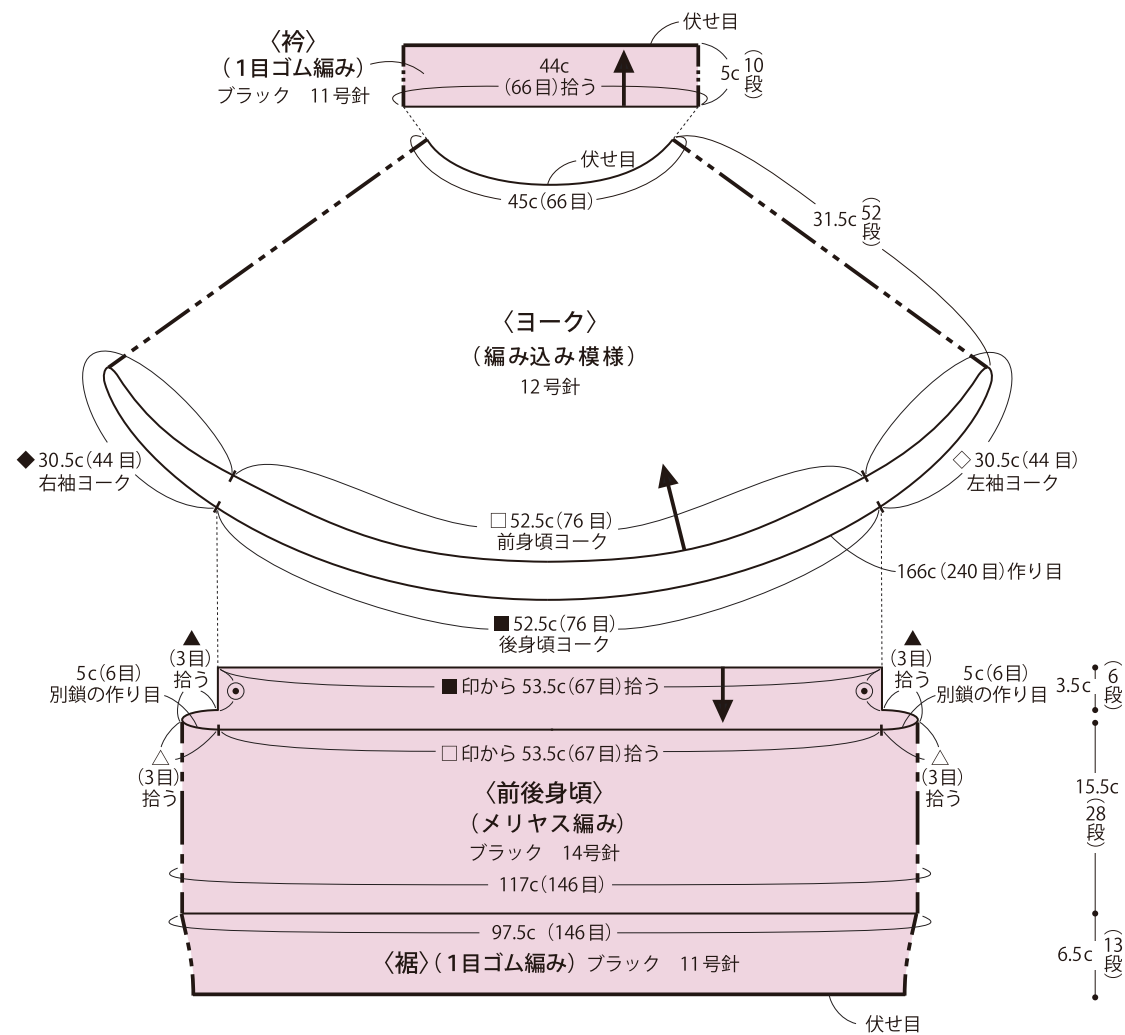
11号4本棒針、12号4本棒針、14号4本棒針
- [ゲージ]

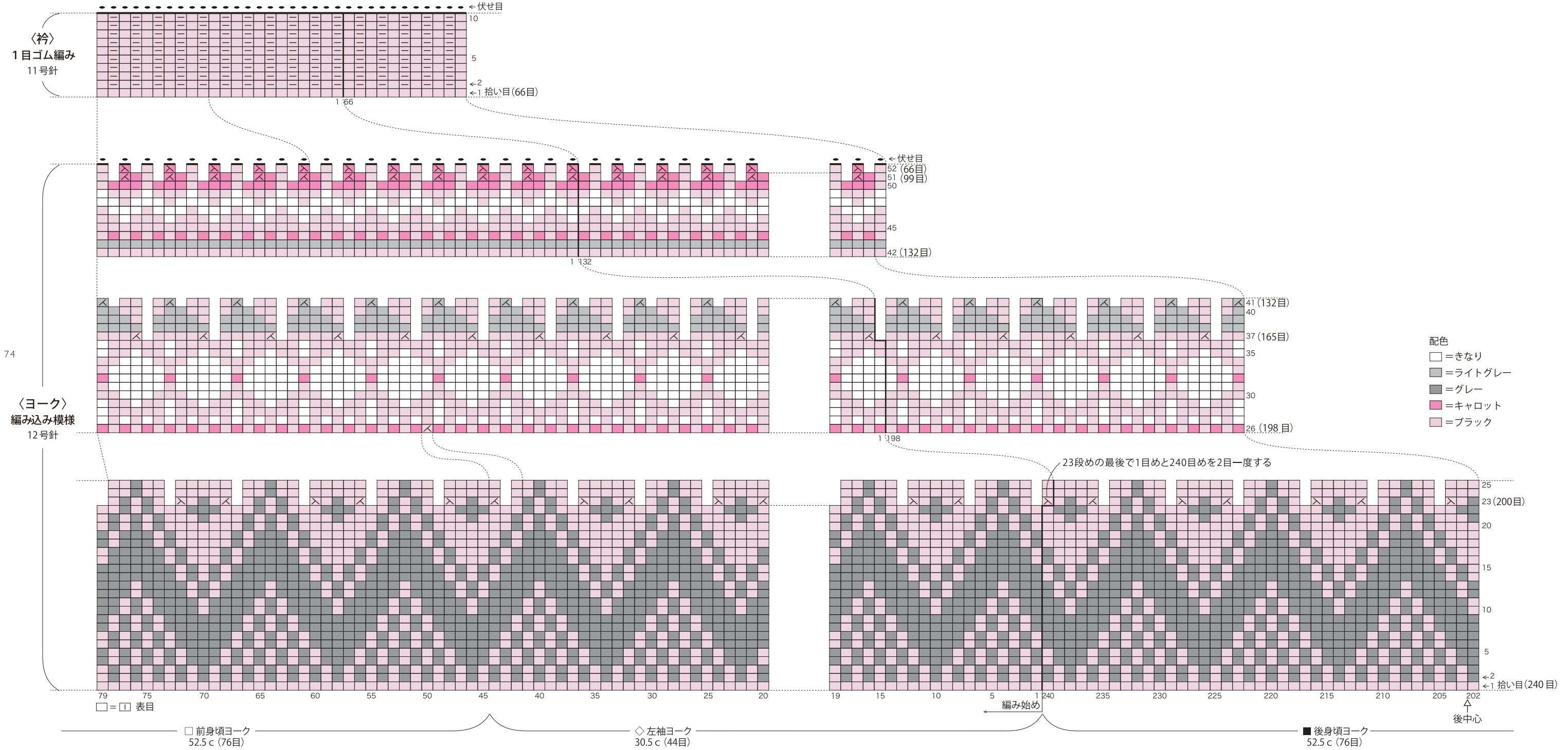
編み込み模様 10cm角 14.5目×16.5段、メリヤス編み 10cm角 12.5目×18段
1目ゴム編み 10cm角 15目×20段(裾)、16目×18.5段(袖口)
- [できあがり寸法]

胸囲 117cm、着丈 53.5cm、ゆき丈 72cm

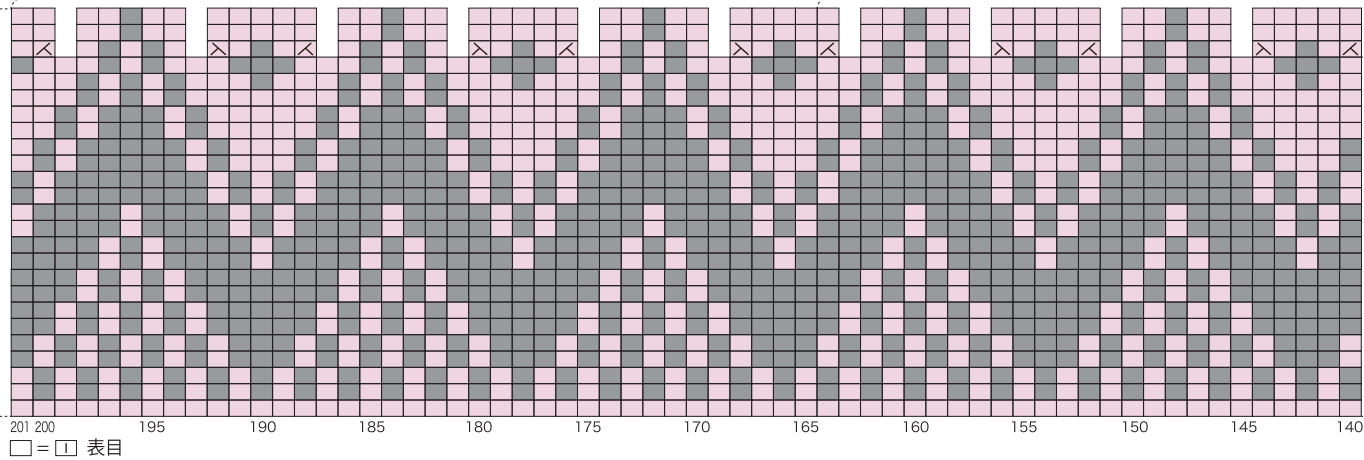
編み方要点

- 1
- ヨークは別鎖の作り目をして12号針で編み込み模様(横に糸を渡す)で分散減目をしてしながら輪に編みます。
編み終わりはゆるめ(頭が通るゆるさ)に伏せ目にします。
- 2
- 衿は11号針でヨークから目を拾い、輪にして1目ゴム編みで編みます。編み終わりは表目は表、裏目は裏で伏せ目にします。
- 3
- ヨークの作り目をほどこいて針に取り、後身頃の前後差を往復で編み、糸を切ります。新しく糸をつけて脇から、輪にしてメリヤス編みで編みます。
続けて針を替えて1目ゴム編みで編み、編み終わりは表目は表、裏目は裏で伏せ目にします。
- 4
- 袖はヨークと両脇の身頃のマチから目を拾い、輪にして減目をしてしながらメリヤス編みで編みます。
続けて針を変えて1段めで減目をして1目ゴム編みで編み、編み終わりは表目は表、裏目は裏で伏せ目にします。

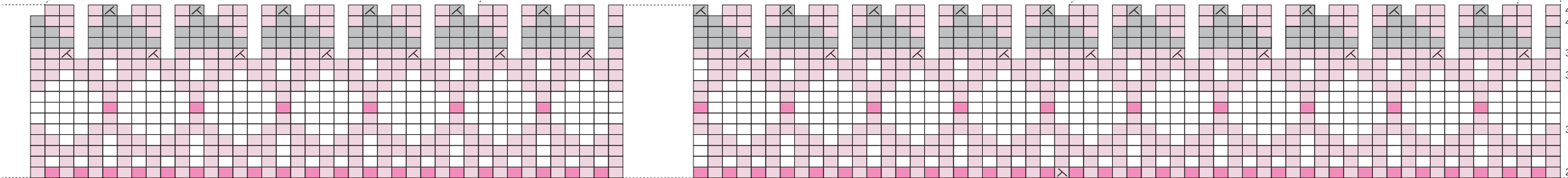
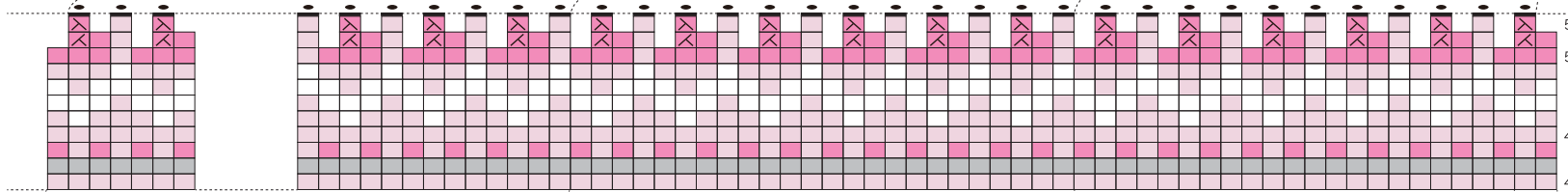
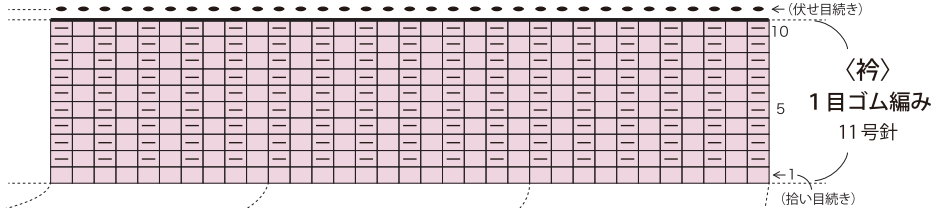
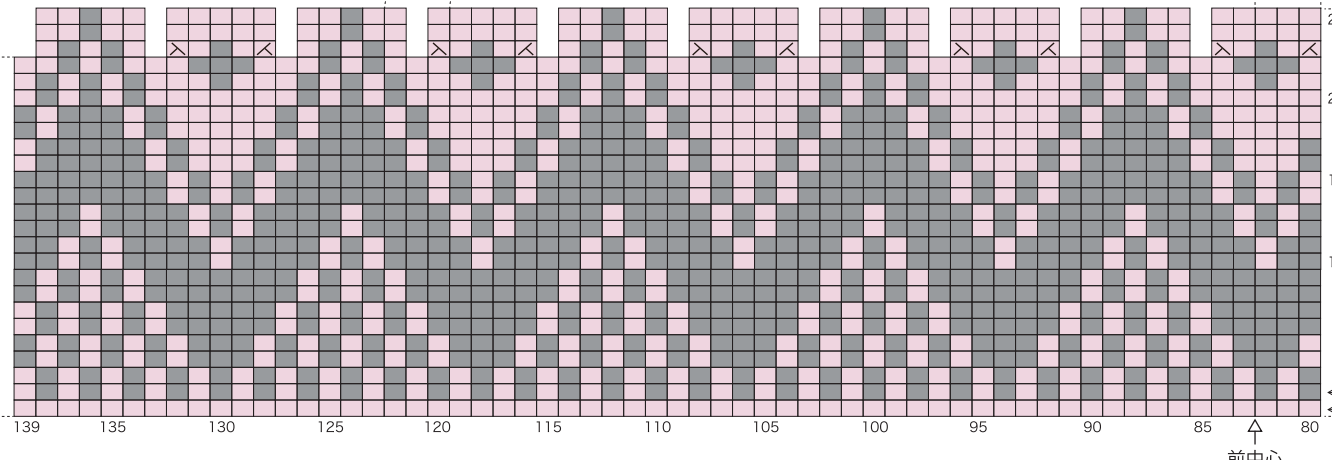


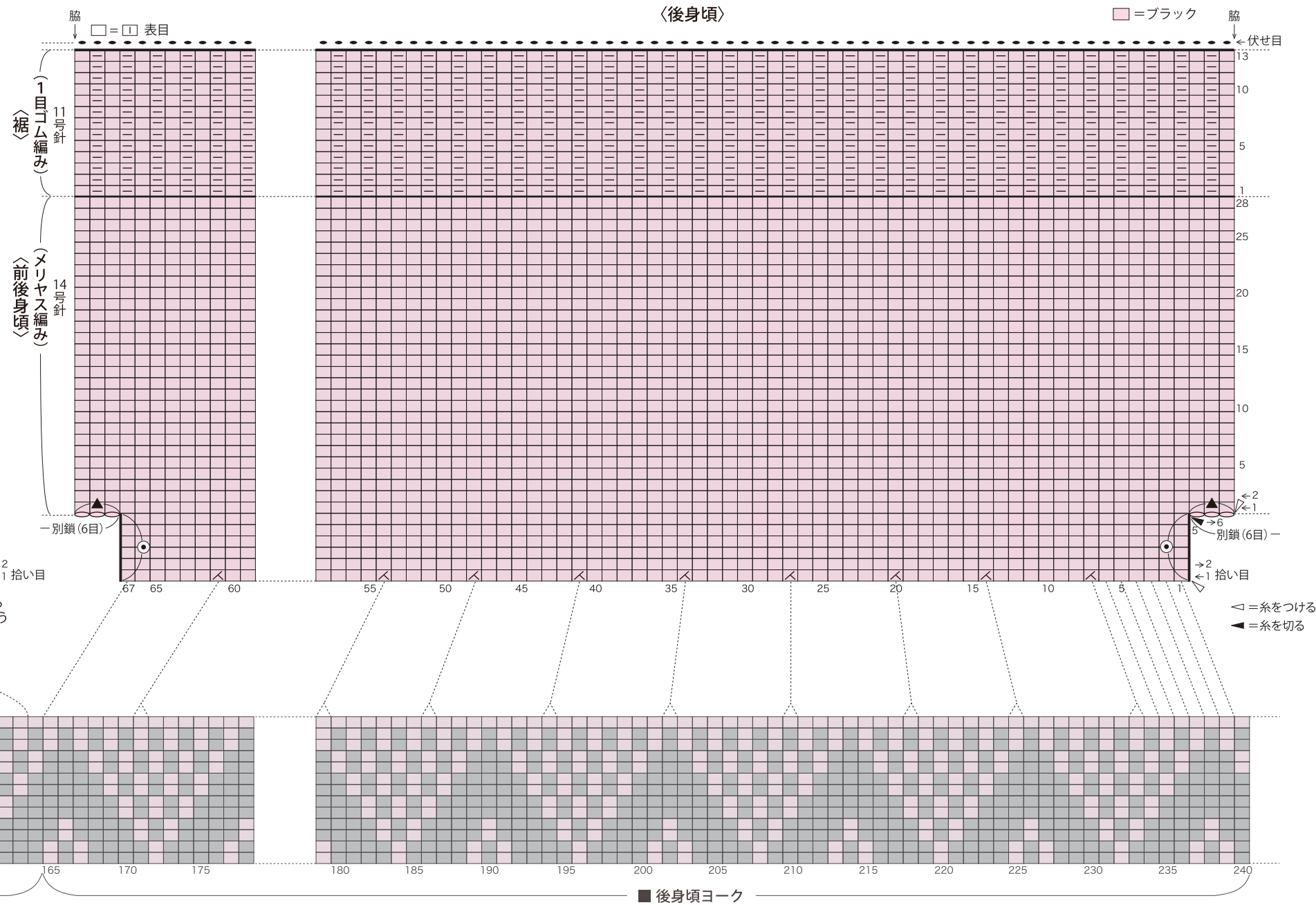
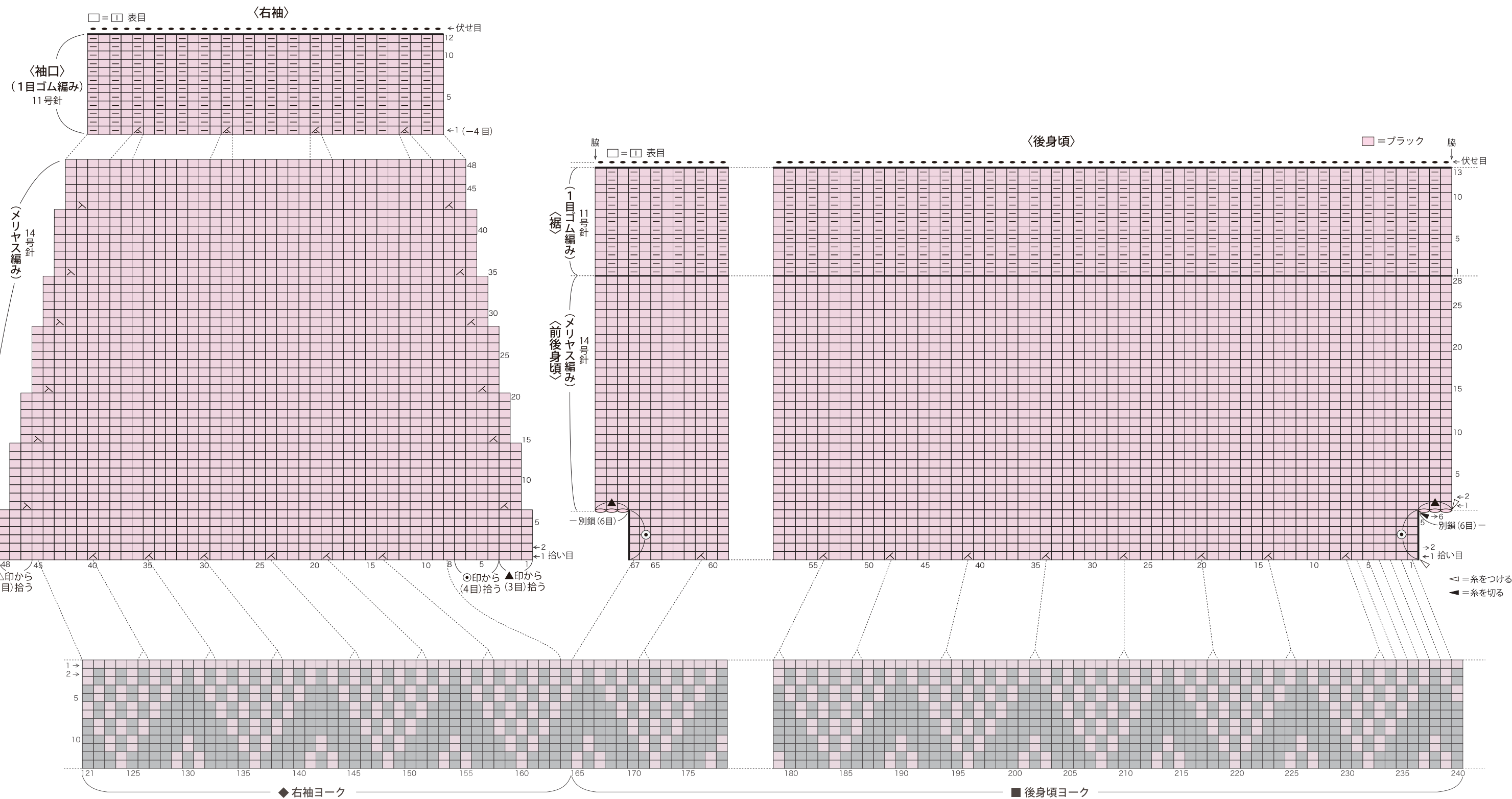


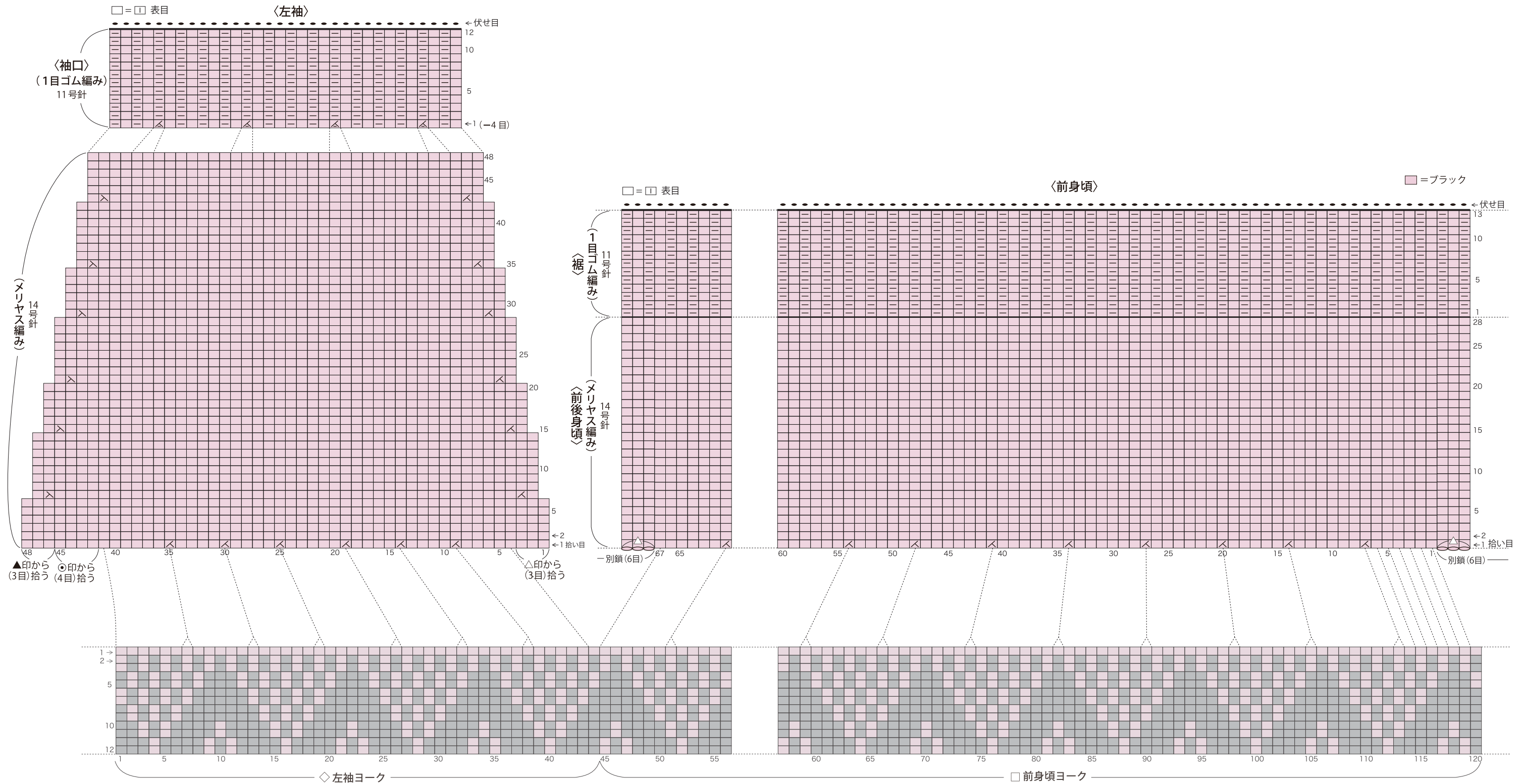
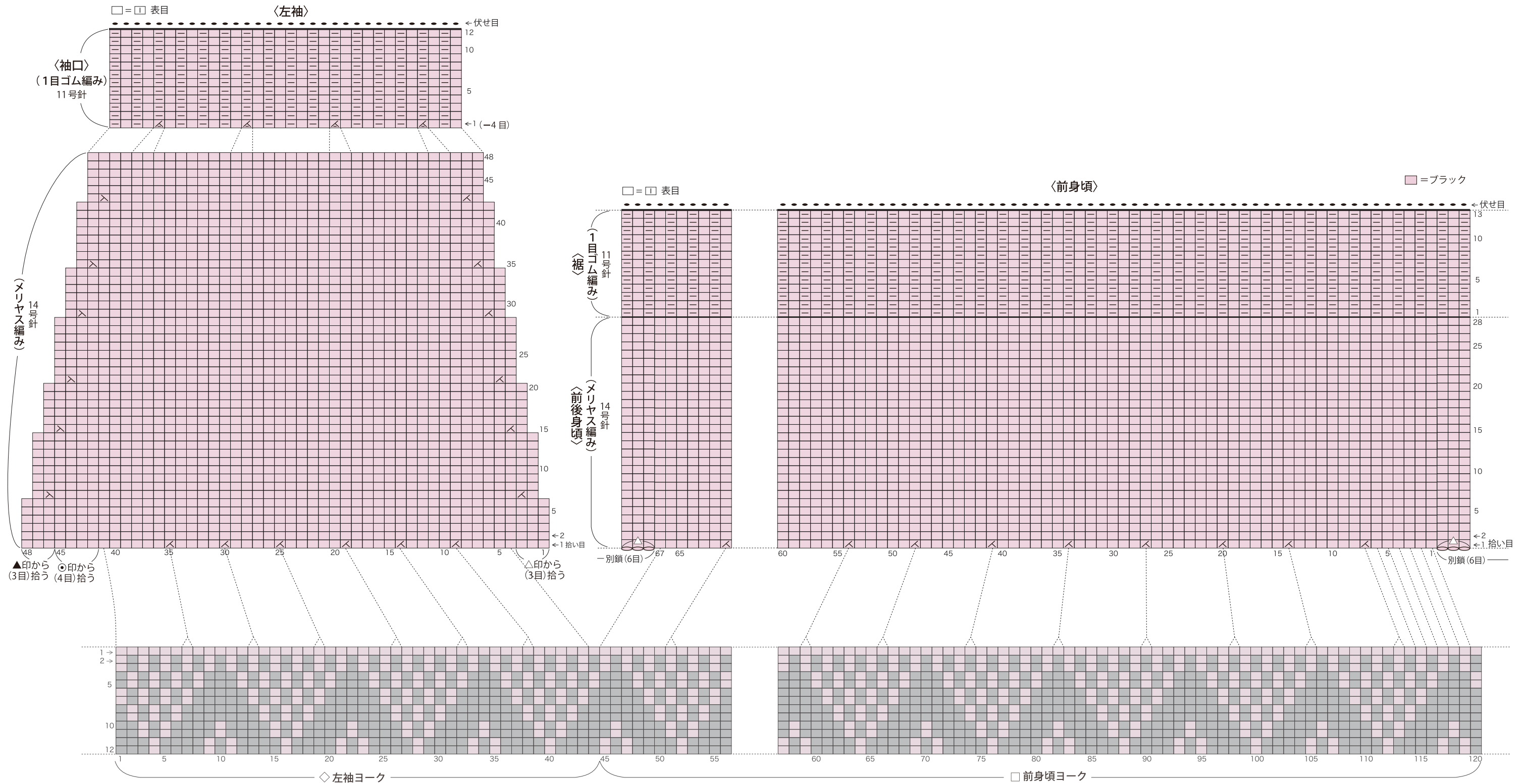
- 配色
- = きなり
 - = ライトグレー
 - = グレー
 - = キャロット
 - = ブラック



◆ 右袖ヨーク
30.5 c (44目)

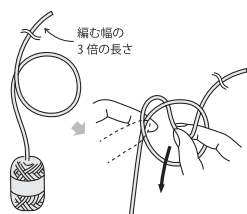




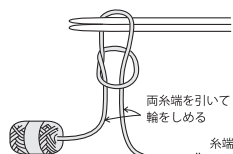


編み目記号と編み方 [棒針]

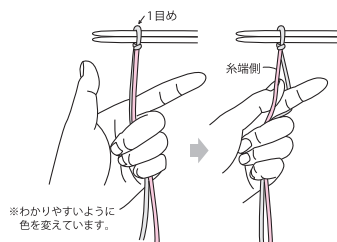
〈一般的な作り目 (指でかける作り目)〉



1 糸端は編む幅の約3倍の長さを残す。図のように糸を引き出し、



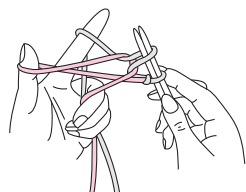
2 棒針2本に糸をかけ、糸を引いて輪をしめる。



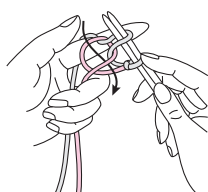
3 図のように2本の糸を、3本の指で握る。2本の糸の間に親指と人差し指を入れて



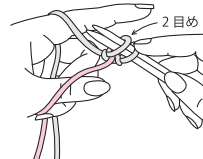
4 針先を1、2、3の順のように動かし、糸をかける。



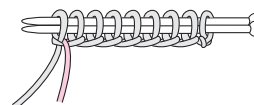
5 2目めの糸をかけたところ。



6 親指の糸をいったんはずし、矢印のように親指を入れ直す。



7 親指で糸を引き、目を引きしめる。4～6をくり返して必要な目数を作る。

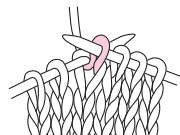


8 作り目(1段め)の出来上がり。

表目

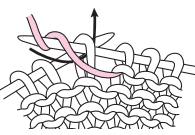


1 糸を向こう側にし、目の手前から右針を入れて矢印のように糸を引き出す。

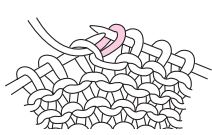


2 糸を引き出したところ。そのまま左針を引いて目をはずす。

裏目



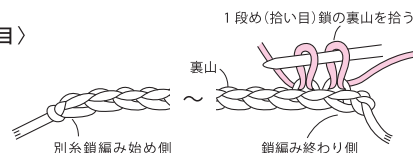
1 糸を手前側にし、目の向こう側から右針を入れて矢印のように糸を引き出す。



2 糸を引き出したところ。そのまま左針を引いて目をはずす。

〈別糸の鎖の作り目〉

鎖編みを作り、編み始めの鎖の裏山から編地用糸で必要目数拾います。
※鎖の作り目 P.88 参照



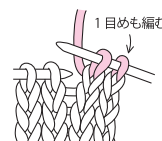
別糸鎖編み始め側

鎖編み終わり側

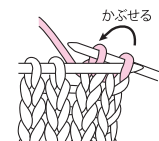
伏せ目(表目)

● 伏せ目(裏目)

裏目を編むように針を入れて伏せます。
※記号は表目と同じ



1 端の2目を表目で編む。

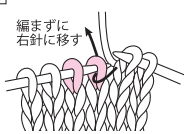


2 左針の先を使って、前の目を2目めにかぶせる。次の目も表目で編み、繰り返す。

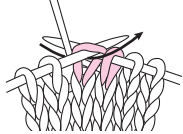


3 最後は目の中を通して、引きしめる。

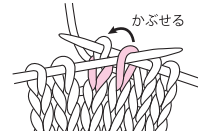
右上2目一度



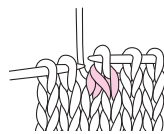
1 右の目に矢印のように針を入れ、編まずに右針に移す。



2 次の目を表目で編む。

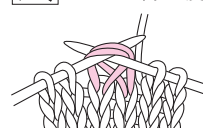


3 左針の先を使って、最初に移した目を編んだ目にかぶせる。

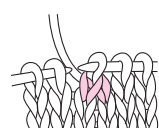


4 左針を引いて目をはずして出来上がり。

左上2目一度

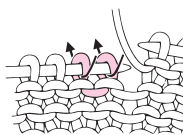


1 2目の左側から一度に針を入れる。

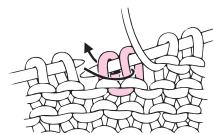


2 そのまま糸をかけて表目を編んで出来上がり。

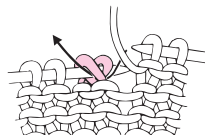
裏目の右上2目一度



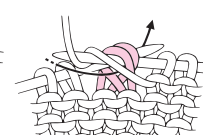
1 2目それぞれを編まずに右針に移す。



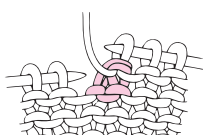
2 左針を2目の右側から入れて、目を戻す。



3 矢印のように右針を入れて、



4 2目をいっしょに裏目で編む。



5 出来上がり。

裏目の左上2目一度



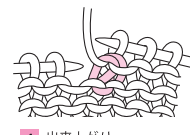
1 矢印のように2目の右側から一度に針を入れる。



2 糸をかけて引き出し、2目をいっしょに裏目で編む。



3 右針で糸を引き出したら、左針を引いてははずす。



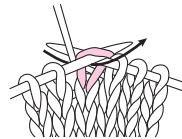
4 出来上がり。



ねじり目の右上2目一度



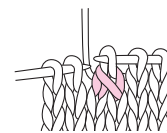
1 右の目に矢印のように向こう側から針を入れ、編まずに右針に移す。



2 次の目を表目で編む。



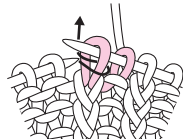
3 左針の先を使って、最初に移した目を編んだ目にかぶせる。



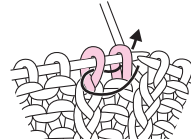
4 左針を引いて目をはずして出来上がり。



ねじり目の左上2目一度



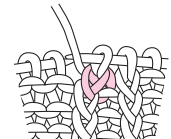
1 右針に編まずに2目を移す。2目めに左針を矢印のように入れる。



2 1目目を左針に戻し、矢印のように右針を入れる。



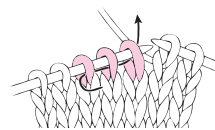
3 2目をいっしょに表目で編む。



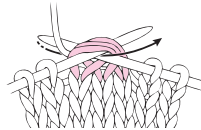
4 ねじり目の左上2目一度の出来上がり。



左上3目一度



1 矢印のように3目の左側から右針を一度に入れる。



2 右針に糸をかけて矢印のように引き出し、3目をいっしょに表目で編む。



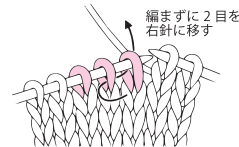
3 右針で糸を引き出したら、左針を引いてはまず。



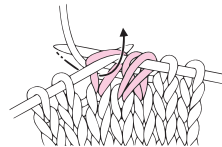
4 出来上がり。



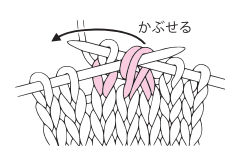
中上3目一度



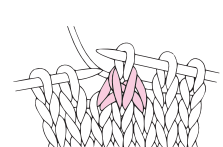
1 右の2目に矢印のように針を入れ、編まずに右針に移す。



2 次の目を表目で編む。



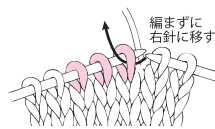
3 右針に移しておいた2目を編んだ目にかぶせる。



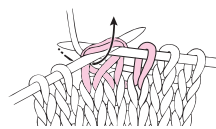
4 出来上がり。



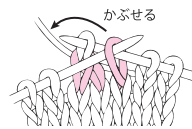
ねじり目の右上3目一度



1 最初の目に向こう側から右針を入れ、編まずに右針に移す。



2 左側の2目に右針を入れ糸をかけて表目で編む。



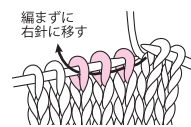
3 右針に移しておいた目に左針を入れ、編んだ目にかぶせる。



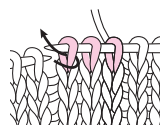
4 出来上がり。



ねじり目の左上3目一度



1 右針に編まずに3目を移す。



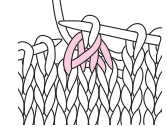
2 3目めに左針を矢印のように入れて戻す。あとの2目も左針に戻す。



3 矢印のように右針を左側から入れる。



4 3目をいっしょに表目で編む。



5 出来上がり。



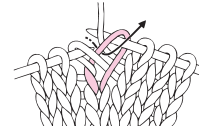
右増し目



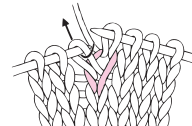
1 増す目の前段に手前側から矢印のように右針を入れる。



2 右針で前段の目を引き出したところ。



3 右針に糸をかけて矢印のように引き出し、表目で編む。



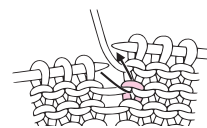
4 左針にかかっている目も表目で編む。



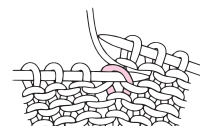
5 出来上がり。



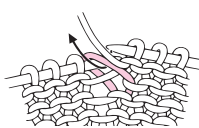
裏目の左増し目



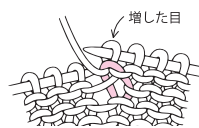
1 増す位置まで編み、編んだ目の1段下に矢印のように左針を入れる。



2 針を入れたら目を引き上げる。



3 引き上げた目に右針を入れ、裏目を編む。



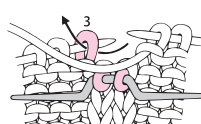
4 出来上がり。



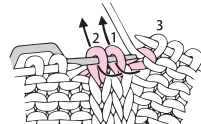
右上 2 目と
1 目の交差
(下側が裏目)



1 右の 2 目を別針に移す。



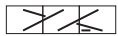
2 移した目を手前に休め、
3 の目を裏目で編む。



3 別針の 2 目を表目で編む。



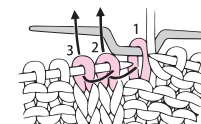
4 右上 2 目と 1 目の交差
(下側が裏目) の出来上がり。



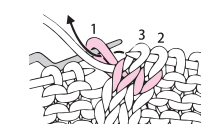
左上 2 目と
1 目の交差
(下側が裏目)



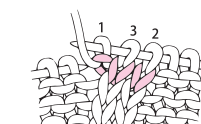
1 1 の目を別針に移す。



2 移した目を向こう側に休め、
2・3 の目を表目で編む。



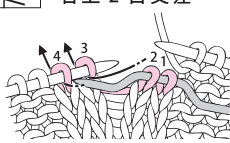
3 別針の目を裏目で編む。



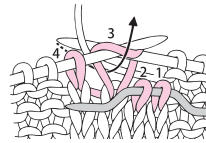
4 左上 2 目と 1 目の交差
(下側が裏目) の出来上がり。



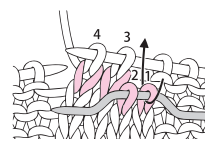
右上 2 目交差



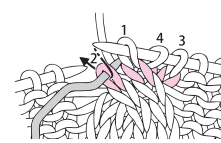
1 右の 2 目を別針に移して、
手前側に休める。



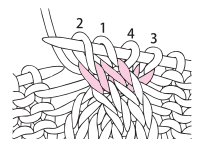
2 3・4 の目を表目で編む。



3 休めておいた、別針の
1 の目に矢印のように右針を入れ、
表目で編む。



4 2 の目を表目で編む。



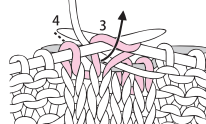
5 出来上がり。



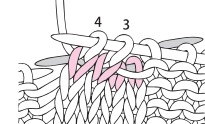
左上 2 目交差



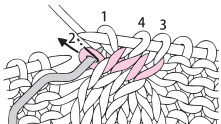
1 右の 2 目を別針に移して、
向こう側に休める。



2 3 の目を表目で編む。



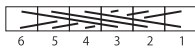
3 4 の目を表目で編む。



4 休めておいた、別針の
1・2 の目を表目で編む。



5 左上 2 目交差の出来上がり。



右上 3 目交差

1 1・2・3 の目を別針に移して手前側に休める。

2 4・5・6 の目を表目で編む。

3 休めていた別針の 1・2・3 の目を表目で編む。

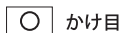


左上 3 目交差

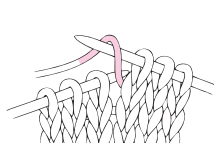
1 1・2・3 の目を別針に移して向こう側に休める。

2 4・5・6 の目を表目で編む。

3 休めていた別針の 1・2・3 の目を表目で編む。



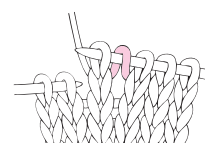
かけ目



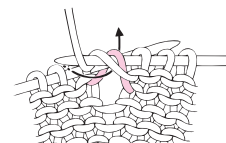
1 右針の手前から向こう側に
糸をかける。



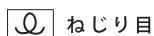
2 次の目を表目で編む。



3 かけ目の出来上がり。



かけ目を裏から編むときは、
裏目で編む。



ねじり目



1 矢印のように向こう側から、
ねじるように右針を入れる。



2 針を入れたところ。



3 右針に糸をかけて、矢印の
ように手前に引き出す。



4 引き出した糸の
下の目の根本がねじれる。



5 出来上がり。



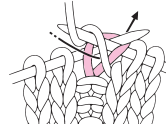
裏目のねじり目



1 糸を手前におき、
矢印のように右針を入れる。



2 針を入れたところ。

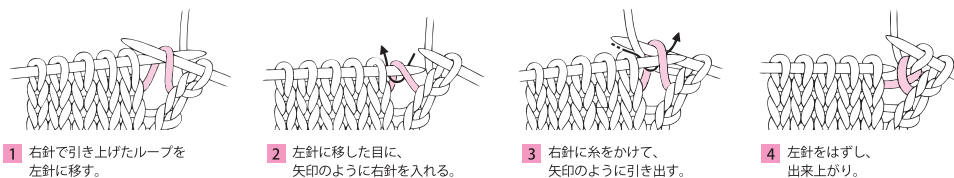


3 糸をかけて
向こう側に引き出す。

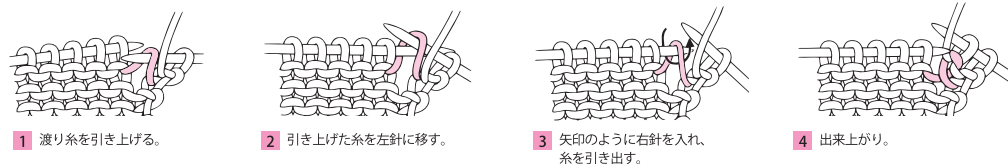


4 出来上がり。

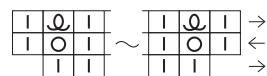
ねじり増し目



裏目のねじり増し目

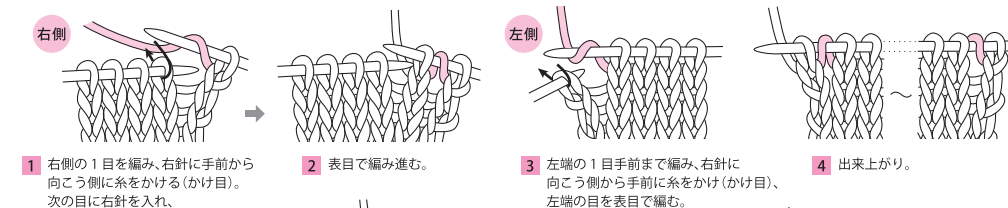


巻き増し目

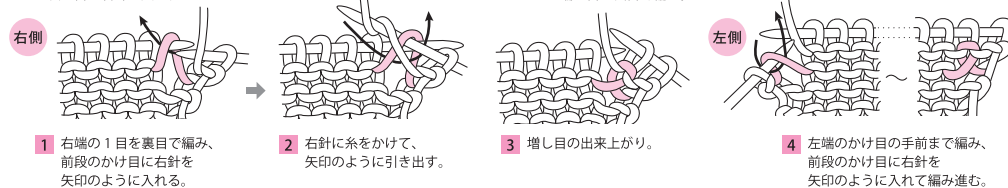


かけ目とねじり目の増し目

表から編む段(かけ目)

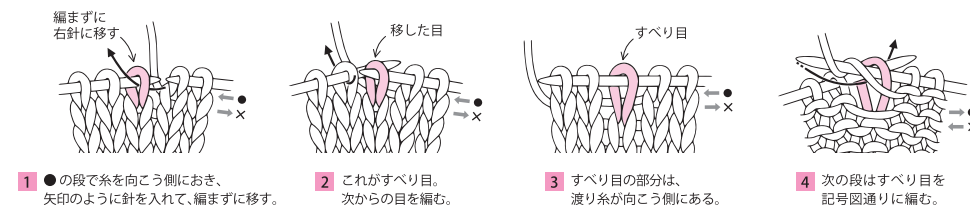


裏から編む段(ねじり目)



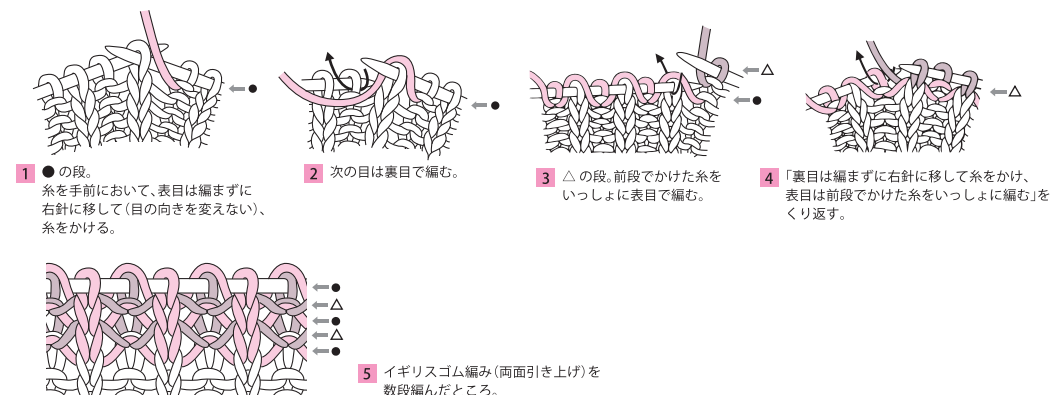
すべり目

※説明は往復編みの場合



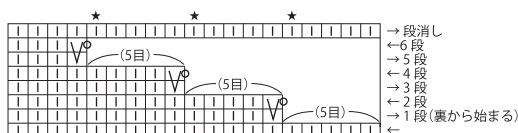
イギリスゴム編み(両面引き上げ)

※説明は輪で編む場合



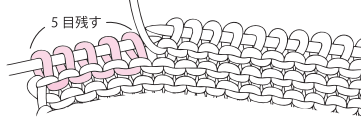
〈編み残しの引き返し編み〉 表目のとき

右側



1 段め

(裏から編む段)



- 1 1 回目の引き返し編み (右側は 1 段早く始まる)。裏側の段で左針に 5 目残して編む。

2 段め

(表から編む段)



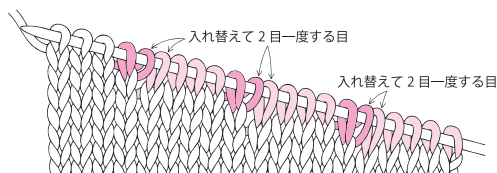
- 2 編地を持ち替えて、糸を手前から向こう側にかけて、かけ目をし、左針の 1 目をすべらせて (すべり目) 右針に移し、あとは表目で編む。

3 段め

(裏から編む段)



- 3 2 回目の引き返し編み。左針に 2 回目の 5 目を残す。



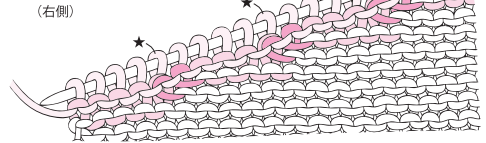
- 4 6 段 (3 回目の引き返し編み) が終わったところ。

段消し (裏から編む段)



- 5 裏側で段消しをする。かけ目とその左どりの下の段の目とを入れ替えて (下図の〈目の入れ替え方〉を参照)、2 目一度に裏目で編む。

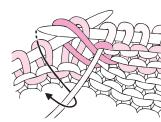
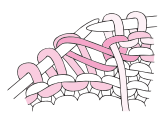
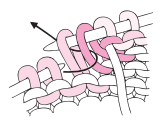
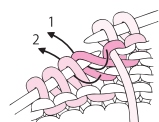
裏側から見た段消し (右側)



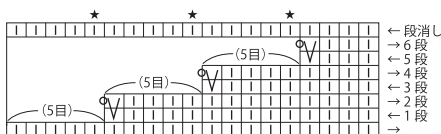
- 6 右側の引き返し編みの出来上がり (かけ目は裏側に出る)。

〈目の入れ替え方〉

(裏側でする)



左側



1 段め

(表から編む段)



- 1 1 回目の引き返し編み。表側の段で左針に 5 目残して編む。

2 段め

(裏から編む段)



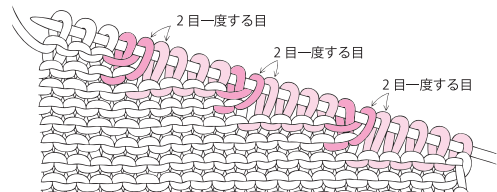
- 2 編地を持ち替えて糸端が裏側になるようにかけてかけ目をし、左針の 1 目をすべらせて (すべり目) 右針に移し、あとは裏目で編む。

3 段め

(表から編む段)



- 3 2 回目の引き返し編み。左針に 2 回目の 5 目を残して編む。



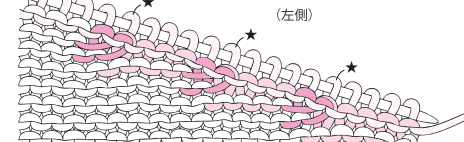
- 4 6 段 (3 回目の引き返し編み) が編み終わったところ。

段消し (表から編む段)



- 5 表側で段消しをする。かけ目とその左どりの下の段の目とを 2 目一度に右針を入れる (かけ目は裏側になる)。

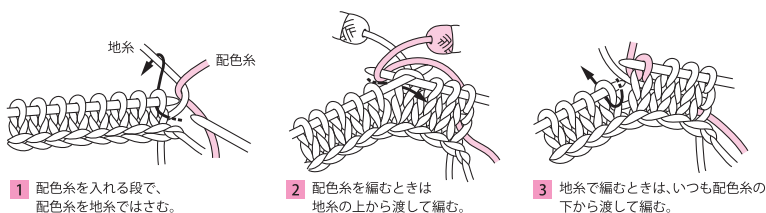
裏側から見た段消し (左側)



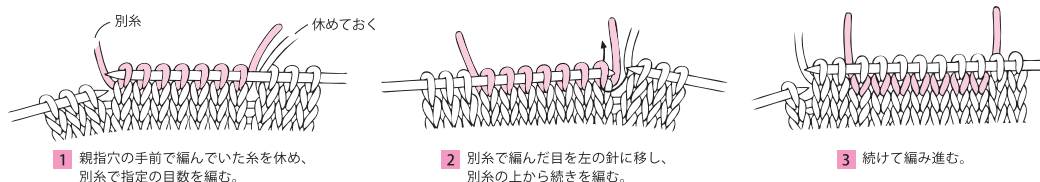
- 6 左側の引き返し編みの出来上がり。 (右側よりも 1 段多くなり、かけ目は裏側に出る)。

〈糸を横に渡す編み込み模様の編み方〉

各糸は編地の端まで持って行く。
渡り糸が長くなるところは
真ん中ではさみながら編む。

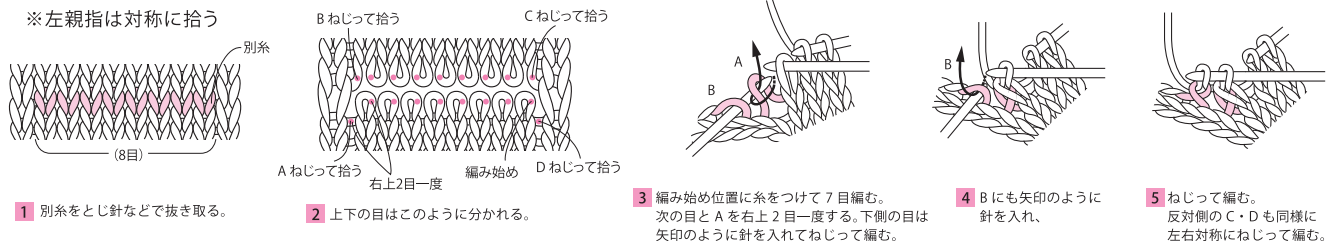


〈別糸を編み込む〉



〈親指 1 段め(右)の拾い位置〉

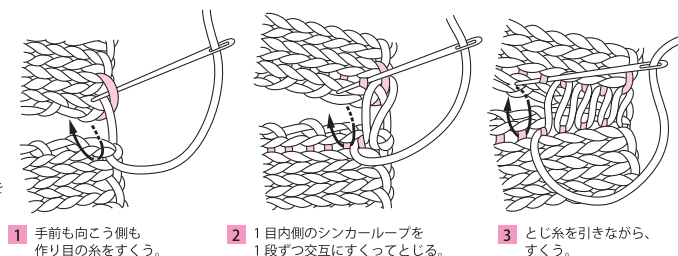
※左親指は対称に拾う



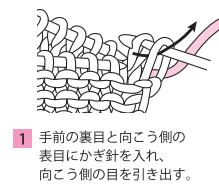
〈すくいとじ〉

メリヤス編み
直線の部分

編地の表側を見て
2 枚をつぎ合わせに持ち、
1 目内側のシンカーループを
すくっていく。

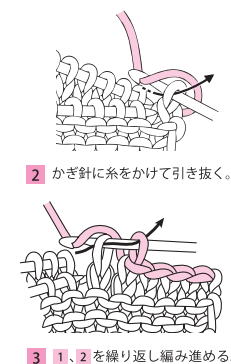
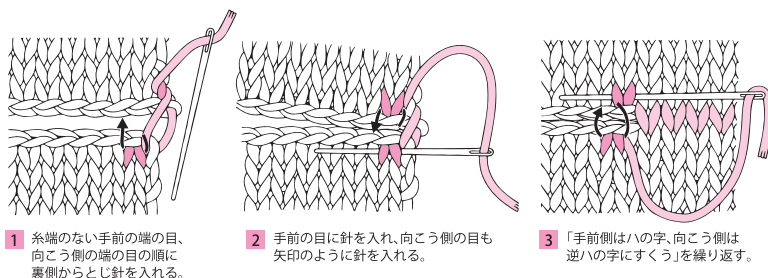


〈かぶせはぎ〉



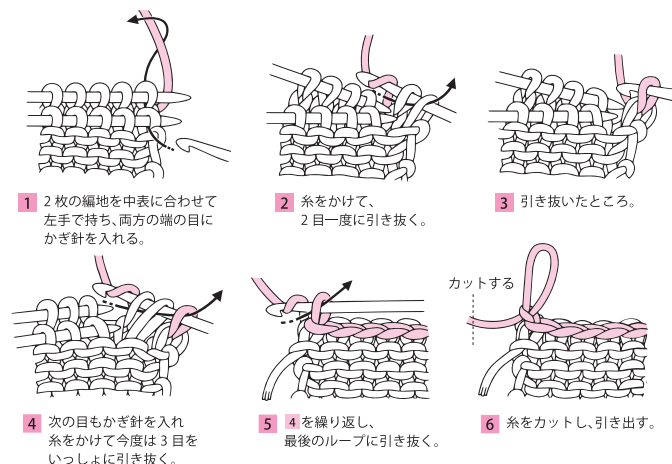
〈メリヤスはぎ〉

両方とも
伏せ目のとき



〈引き抜きはぎ〉

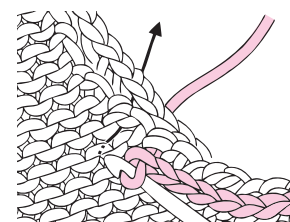
目と目をはぎ合わせる



〈引き抜きとじ〉

曲線をとじる

編地を中表に含ませて(ところどころまち針で
とめるとよい)かがぎ針で引き抜きながらとじる。



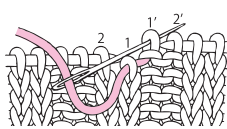
〈2目ゴム編み止め〉

輪編みの場合

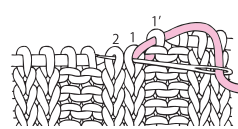
編み始め側



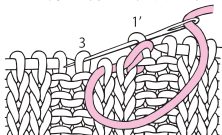
1 1の目(最初の表目)に向こう側から針を入れる。



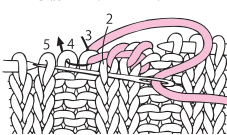
2 1'の目(編み終わりの裏目)に手前から針を入れる。



3 1の目の手前から入れ、2の目の手前に出す(表目と表目)。



4 1'の目の向こう側から入れ、3の目の向こう側に出す(裏目と裏目)。



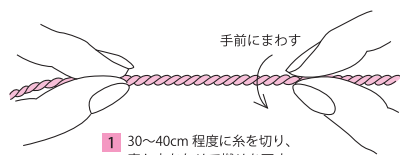
5 2の目の手前から入れ、5の目の手前に出して(表目と表目)糸を引き、続けて矢印のように裏目同士に針を入れる。
3～5を繰り返す。

編み終わり側



6 3'の目の手前から入れ、1の目の手前に出す。2'の目の向こう側から入れ、1'の目の向こう側に出す。糸を引いて出来上がり。

〈割り糸〉 1本の糸の撚りをほどいて2つに分けたもの。



1 30～40cm程度に糸を切り、真ん中あたりで撚りを戻す。



2 糸が分かれてくる。

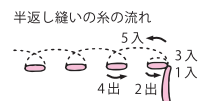
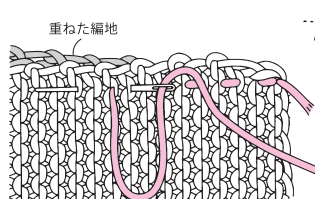


3 半分に分ける。



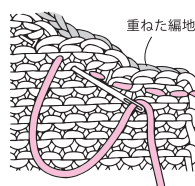
4 分けた糸に撚りをかけ直してスチームアイロンをかける。

〈半返し縫い〉



段を縫う

編地を中表に合わせて、とじ針を編地に垂直になるように出し入れしながら縫う。



曲線を縫う

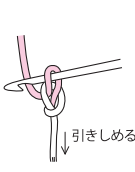
編地を中表に合わせて(とところどころをまち針などで止めるとよい)、とじ針を編地に垂直になるように出し入れしながら縫う。

編み目記号と編み方 [— かぎ針]

〈鎖の作り目〉 最初の目の作り方



1 図のように糸でわを作り、矢印のように糸を引き出す。

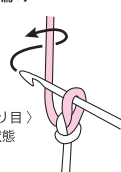


2 糸端を引きしめる。

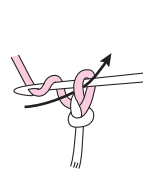
鎖編み

〈鎖の作り目〉

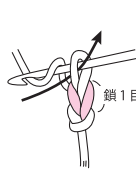
2の状態



1 矢印のように針に糸をかける。



2 針に糸をかけて引き出し、1目目を編む。

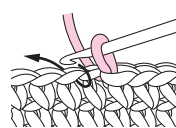


3 1目目が編めた状態。さらに針に糸をかけて引き出す。

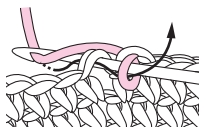


4 「糸をかけて引き出す」をくり返す。

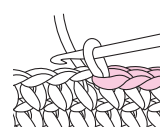
引き抜き編み



1 頭2本に矢印のように針を入れ、

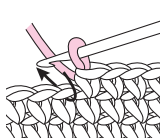


2 針に糸をかけ、矢印のように引き出し、

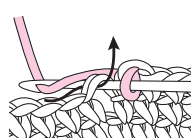


3 つれやすいので、糸はゆるめに引き出しながら編む。

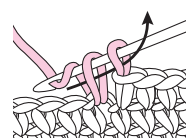
細編み



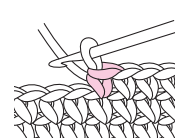
1 頭2本に矢印のように針を入れ、



2 針に糸をかけ、矢印のように引き出し、

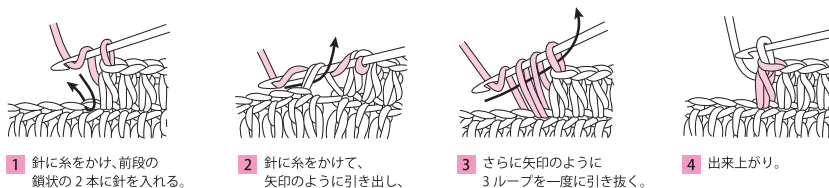


3 もう一度糸をかけ、2ループを一度に引き抜く。

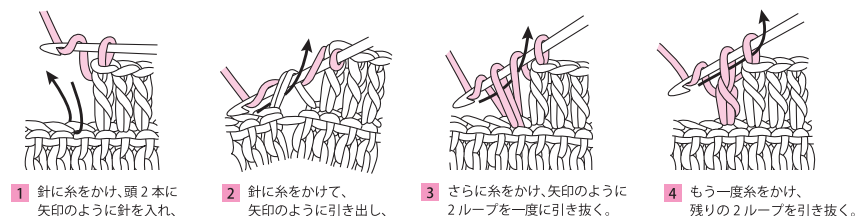


4 出来上がり。

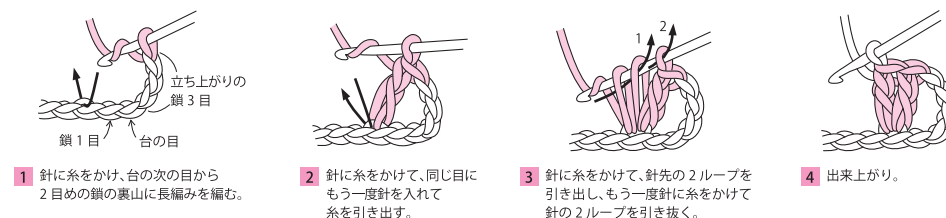
中長編み



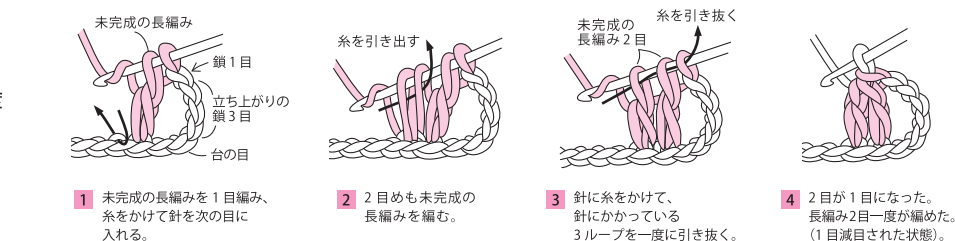
長編み



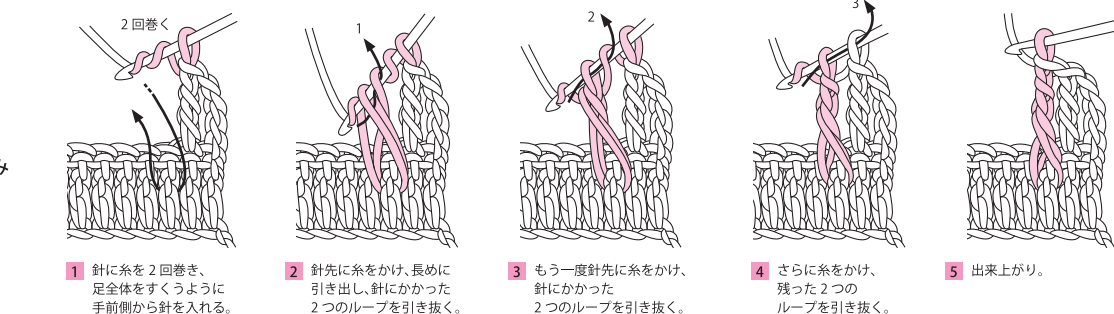
長編み2目を編み入れる (1目に編む)



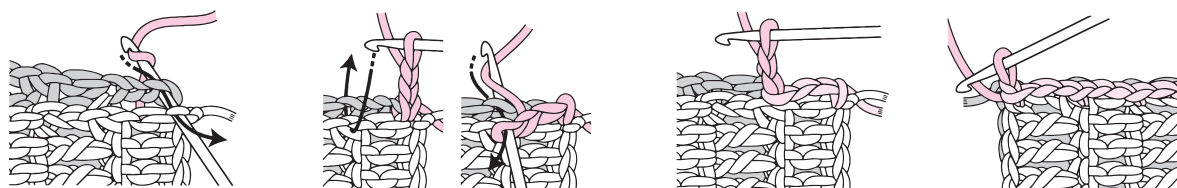
長編み2目一度 (1目ずつから拾う)



長々編みの表引き上げ編み



〈引き抜きの鎖とじ〉



STAFF

撮影	上原 朋也 横田株式会社 (P.30)
スタイリング	山口 香穂
モデル	美衣 (Gunn's)
ヘアメイク	扇本 尚幸
トレース	黒柳 真美
編集・製図・ブックデザイン	横田株式会社

〔 商品クレジット 〕

P.4、5、6	デニムパンツ (A)
P.6、7	ベレー帽 (B)
P.7、8、11、14、29	シューズ (C)
P.11、12、13、14、15	コート、パンツ (D)
P.17、18	コート (E)
P.19、20、21	シャツ (F)
P.22、23、24	ジャンプスーツ (E)
P.27、28、29	パンツ (E)

※他スタイリスト私物

〔 お問い合わせ先 〕

(A) アップサイクルリノベーション (ネストロープ 渋谷店) 03-6416-3771
(B) マニユファクチュール デュ ベレー (グラストンベリー ショールーム) 03-6231-0213
(C) サンダース (グラストンベリー ショールーム) 03-6231-0213
(D) ヤーモ (グラストンベリー ショールーム) 03-6231-0213
(E) ネストロープ (ネストロープ 表参道店) 03-6438-0717
(F) オネット (グラストンベリー ショールーム) 03-6231-0213

DARUMA PATTERN BOOK 8

2023 年 8 月 18 日 初版第 1 刷発行

2023 年 12 月 11 日 第 2 版第 1 刷発行

編集人	牧野 貴子
発行人	横田 宗樹
発行所	横田株式会社 〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町 2-5-14 http://www.daruma-ito.co.jp/ TEL. 06-6251-2183
印刷・製本	株式会社 シナノ
糸見本制作	武正株式会社

© 横田株式会社 2023 Printed in Japan
ISBN : 978-4-908-76923-8

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は、著作権法上の例外を除き、禁じられています。
本書をコピーされる場合は、事前に日本複製権センター (JRR) の許諾を受けてください。
JRR < <http://www.jrrc.or.jp/> > e メール : jrrc_info@jrrc.or.jp TEL : 03-3401-2382 >
万が一、乱丁・落丁の本がございましたらお問い合わせになった店舗か小社にご連絡ください。お取り替えいたします。

※本誌掲載作品の複製頒布、および販売はご遠慮ください。

糸についてのお問い合わせはコチラ

横 田 株 式 会 社

<http://www.daruma-ito.co.jp/>

〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町 2-5-14

TEL. 06-6251-2183



編図に間違いがあった場合は以下のアドレスに記載いたします。
<http://www.daruma-ito.co.jp/products/errata.html>

ISBN 978-4-908-76923-8

ISBN 978-4-908-76923-8